

前 金	部 分 払
有	一 回

令 和 3 年 度
下 工 公 補 第 2 5 号

野田調整池築造工事設計書

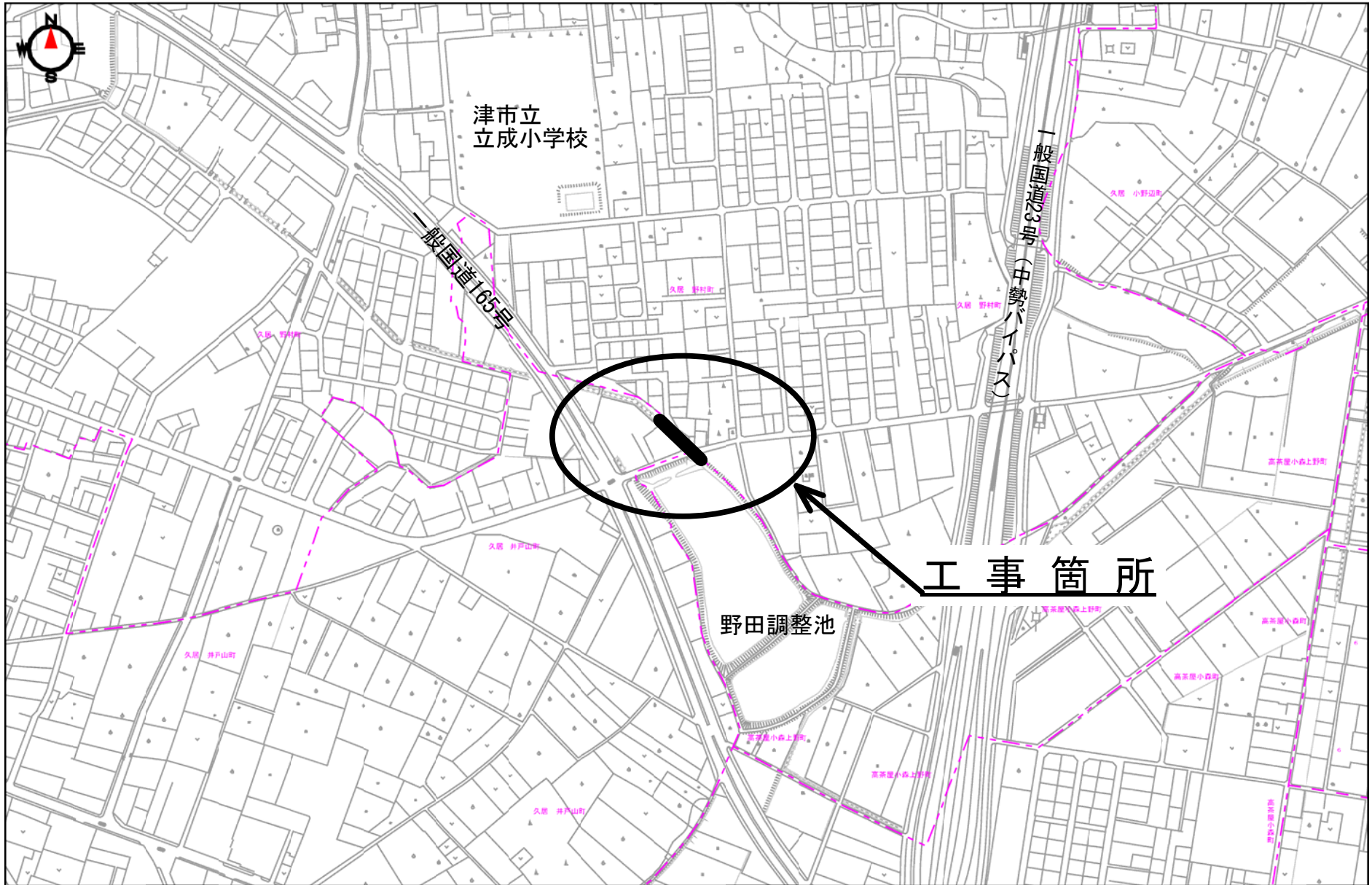
工 事 仕 様 は 特 記 以 外 は 三 重 県 公 共 工 事 共 通 仕 様 書
及 び 工 事 監 督 員 の 指 示 に よ る 。

津 市
上 下 水 道 事 業 局 下 水 道 工 務 課

令和3年度	下工公補	第25号	工 事 設 計 書			
施工場所	津市久居井戸山町ほか2町地内			局長		
				局次長		
工事名	野田調整池築造工事			課長		
				検算者		
設計額	(うち消費税等相当額)			調整担当主幹		
				担当副主幹		
工期	令和4年6月30日限り			設計者		
長	—	巾	—			
工 事 の 大 要						
プレキャストカルバート工(B4000×H2400)				9	m	
水路工(W4000×H1900・2800)				30	m	

位置図

令和3年度下工公補第25号
野田調整池築造工事



0 300m
1:5,000

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）						
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
築堤・護岸		式		1		
水路工		式		1		
作業土工		式		1		
床掘り	土砂	m3		230		
埋戻し(1)	RC-40	m3		10		
埋戻しコンクリート	18-8-40BB	m3		96		
型枠		m2		80		
モルタル		m3		8		

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事(補助対象工事)			当初		事業区分 河川改修	
							工事区分 築堤・護岸	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
円形型枠				m		89		
土砂等運搬		土質土砂(岩塊・玉石混り土含む)		m ³		230		
水路工				式		1		
L型水路		W4000×H1900・2800		m		30		
L型水路材料費		H=1900・2800		式		1		
雑工				式		1		
削孔(1)		L=360 φ120		箇所		33		
削孔(2)		L=360 φ500		箇所		18		

工事数量総括表

		工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）	当初	事業区分	河川改修		
					工事区分	築堤・護岸		
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
隔壁		H=2410 18-8-40BB		式		1		
既設管閉塞		18-8-40BB		式		1		
転落防止柵		H=1.1m 土中建込用 縦格子 白色		m		3		
マンホールポンプ設備移設				式		1		
構造物撤去工				式		1		
防護柵撤去工				式		1		
防護柵撤去(1)		H=0.6m		m		30		
構造物取壊し工				式		1		

工事数量総括表

	工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初	事業区分	河川改修
						工事区分	築堤・護岸
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
コンクリート構造物取壊し(1)	鉄筋構造物	m ³		36			
コンクリート切断	t=360	m		83			
ウォールソーイング	t=360 横断方向	m		62			
鋼材切断	300×300×10×15	箇所		19			
コンクリート取壊し運搬処理(1)	鉄筋構造物	m ³		36			
仮設工		式		1			
土留・仮締切工		式		1			
H鋼杭打込(1)	300×300×10×15 杭長L=7000 購入材 平均打込長L=6370	本		37			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事(補助対象工事)		当初		工事区分	築堤・護岸	
グラウト注入	セメントミルク	m3		19		
切梁・腹起し	設置・撤去 300×300×10×15	t		11.5		
横矢板	設置・撤去 まつ t=45	m2		82		
H鋼杭・支保材損料等(1)		式		1		
大型土のう(1)	製作・設置・撤去	袋		27		
土留工用盛土	山土	m3		20		
土留工用盛土撤去	土砂	m3		20		
工事用盛土	山土	m3		180		

工事数量総括表

	工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初	事業区分	河川改修
						工事区分	築堤・護岸
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
砕石敷均し(1)	RC-40 t=200	m ³		20			
砕石敷均し(2)	RC-40 t=100	m ³		20			
工事用盛土撤去	土砂	m ³		180			
土砂等運搬	土砂	m ³		230			
仮水路工		式		1			
大型土のう(2)	製作・設置・撤去 1年耐候性	袋		6			
土砂等運搬	土砂	m ³		5			
道路改良		式		1			

工事数量総括表

		工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初	事業区分	道路新設・改築
						工事区分	道路改良	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
道路土工				式		1		
掘削工				式		1		
掘削		土質土砂; 施工方法ホﾟソカット; 押土無し; 障害無し; 施工数量5,000m3未満		m3		40		
土砂等運搬		土砂		m3		40		
石・ブロック積工				式		1		
作業土工				式		1		
床掘り		土砂		m3		20		
埋戻し(2)		流用土		m3		10		

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分 道路新設・改築	
							工事区分 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)				式		1		
コンクリートブロック基礎		コンクリート規格18-5-40(高炉);底幅55cm; 高さ32cm		m		8		
コンクリートブロック積		1:0.5 裏コン 15cm 控えt=350		m ²		25		
裏込砕石		砕石規格再生砕石 RC-40		m ³		15		
天端コンクリート		コンクリート規格18-8-25(高炉)		m		8		
小口止コンクリート		コンクリート規格18-8-40(高炉)		基		1		
カバート工				式		1		
作業土工				式		1		

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分 道路新設・改築	
							工事区分 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
床掘り		土砂	m3		80			
埋戻し(1)		RC-40	m3		50			
土砂等運搬			m3		80			
プラスチックカバー工			式		1			
プラスチックボックス		B4000×H2400	式		1			
プラスチックボックス材料費		B4000×H2400	式		1			
地覆工			式		1			
場所打地覆		W=600	式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初	事業区分	道路新設・改築
						工事区分	道路改良
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
雑工		式		1			
取付水路	H2700×B4000	式		1			
排水構造物工		式		1			
側溝工		式		1			
プラスチックU型側溝	3種 250 リサイクル認定製品	m		3			
側溝蓋	3種 コンクリート蓋 騒音防止機能付 250用 リサイクル認定製品	枚		5			
集水柵工		式		1			
現場打集水柵	□1500×1500×H3700	基		1			

工事数量総括表

	工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分	道路新設・改築
							工事区分	道路改良
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
管渠工		式		1				
ヒューム管	φ900	式		1				
付帯道路工		式		1				
路側防護柵工		式		1				
ガードレール(1)	ガードレール規格(標準型・土中用) 塗装品 Gr-C-4E; 施工規模100m以上; 曲線部補正無	m		64				
ガードレール(3)	ガードレール規格(標準型・土中用) 塗装品 Gr-C-4E; 施工規模100m以上; 曲線部補正有	m		46				
法面整形工		式		1				
法面整形(盛土部)	現場制約無し; 土質は質土、砂及び砂質土、粘性土	m ²		840				

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分 道路新設・改築	
							工事区分 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
作業土工				式		1		
掘削		土砂		m3		330		
路床盛土		山土 CBR8以上		m3		570		
路体盛土		山土		m3		1,600		
土砂等運搬		土砂		m3		320		
アスファルト舗装工				式		1		
路盤		路盤材種類再生クラッシュラン RC-40; 仕上り厚200mm		m2		588		
表層(2)		材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13); 舗装厚50mm; 平均幅員3.0m超		m2		580		

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分 道路新設・改築	
							工事区分 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
区画線工				式		1		
溶融式区画線(1)		施工方法区分溶融式手動; 規格・仕様区分実線 15cm; 塗布厚1.5mm; 排水性舗装無し		m		270		
溶融式区画線(2)		施工方法区分溶融式手動; 規格・仕様区分矢印・記号・文字 15cm換算; 塗布厚1.5mm; 排水性舗装無し		m		10		
溶融式区画線(3)		施工方法区分溶融式手動; 規格・仕様区分実線 15cm; 塗布厚1.5mm; 排水性舗装無し		m		92		
区画線消去		施工方法区分削取り式		m		110		
雑工				式		1		
道路反射鏡		支柱・鏡・基礎再利用		箇所		2		
構造物撤去工				式		1		

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分 道路新設・改築	
							工事区分 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
防護柵撤去工			式		1			
防護柵撤去(2)(ガードレール)		Gr-C-2B	m		18			
防護柵撤去(3)(ガードレール)		Gr-C-4E	m		20			
構造物取壊し工			式		1			
コンクリート構造物取壊し(1)		鉄筋構造物	m3		52			
コンクリート構造物取壊し(2)		無筋構造物	m3		6			
舗装版切断		舗装版種別アスファルト舗装版;アスファルト舗装版厚15cm以下	m		18			
舗装版破碎		舗装版種別アスファルト舗装版;舗装版厚5cm	m2		77			

工事数量総括表

	工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初	事業区分	道路新設・改築
						工事区分	道路改良
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
ウォールソーイング	t=360 横断方向	m		60			
鋼材切断	300×300×10×15	箇所		17			
コンクリート取壊し運搬処理(1)	鉄筋構造物	m ³		52			
コンクリート取壊し運搬処理(2)	無筋構造物	m ³		6			
道路反射鏡撤去	支柱・鏡・基礎再利用	箇所		2			
運搬処理工		式		1			
殻運搬	As殻	m ³		4			
殻処分	As殻	m ³		4			

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分 道路新設・改築	
							工事区分 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
現場発生品運搬(1)		鋼材	回		1			
現場発生品運搬(2)		廃プラ	回		1			
産業廃棄物処分費		廃プラ（塩ビ管以外）	t		0.1			
仮設工			式		1			
土留・仮締切工			式		1			
H鋼杭打込(2)		300×300×10×15 杭長L=8500 購入材 平均打込長L=7750	本		17			
グラウト注入		セメントミルク	m3		14			
横矢板		設置・撤去 まつ t=45mm	m2		57			

工事数量総括表

	工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初	事業区分	道路新設・改築
						工事区分	道路改良
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
H鋼杭・支保材損料等(2)		式		1			
大型土のう(1)	製作・設置・撤去	袋		6			
土砂等運搬	土砂	m3		5			
水替工		式		1			
ポンプ排水	常時排水 商用電源	式		1			
電力設備工		式		1			
低圧受電設備設置撤去	25kw以下	箇所		1			
仮水路工		式		1			

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分 道路新設・改築	
							工事区分 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
暗渠排水管		高密度ポリエチレン管（ダブル）φ900		m		84		
大型土のう(3)		製作・設置 1年耐候性		袋		270		
交通管理工				式		1		
交通誘導警備員				人日		172		
舗装				式		1		
舗装工				式		1		
舗装準備工				式		1		
調整コンクリート		コンクリート規格18-8-25(高炉); 敷厚15cm		m ²		36		

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分 道路新設・改築	
							工事区分 舗装	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
橋面防水工				式		1		
橋面防水		塗膜系防水		m2		36		
アスファルト舗装工				式		1		
路盤		路盤材種類再生クラッシュラン RC-40; 仕上り厚200mm		m2		41		
基層		ポリマー改質AsⅢ型 t=4cm		m2		36		
表層(1)		材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13); 舗装厚40mm; 平均幅員3.0m超		m2		36		
表層(2)		材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13); 舗装厚50mm; 平均幅員3.0m超		m2		41		
防護柵工				式		1		

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初		事業区分 道路新設・改築	
							工事区分 舗装	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
路側防護柵工				式		1		
ガードレール(2)		ガードレール規格(標準型・Co用) 塗装品 Gr-C-2B; 施工規模21m未満; 曲線部補正無		m		18		
現場打ガードレール基礎		21-8-40BB		式		1		
直接工事費				式		1		
共通仮設				式		1		
共通仮設費				式		1		
運搬費				式		1		
重建設機械分解組立費		圧入機		回		1		

工事数量総括表

	工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初	事業区分	道路新設・改築
						工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
仮設材運搬費(1)	往復	式		1			
仮設材運搬費(2)	往路	式		1			
仮設材等積込取卸し(1)	往復	式		1			
仮設材等積込取卸し(2)	往路	式		1			
事業損失防止施設費		式		1			
家屋調査費	木造建物A 70m2以上130m2未満 1箇所 技術経費・諸経費等含む	式		1			
役務費		式		1			
電力基本料金		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初	事業区分	道路新設・改築
						工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
技術管理費		式		1			
据付(技術者)間接費(電気設備工)	一般管理費のみ対象	式		1			
土質等試験費		式		1			
共通仮設費（率計上）		式		1			
純工事費		式		1			
現場管理費		式		1			
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			

工事数量総括表

		工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（補助対象工事）			当初	事業区分	道路新設・改築
							工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
スクラップ評価額			式		1			
工事価格			式		1			
消費税相当額			式		1			
工事費計			式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事(市単独工事)			当初	事業区分	河川改修
						工事区分	築堤・護岸
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
築堤・護岸		式		1			
法覆護岸工		式		1			
作業土工		式		1			
床掘り	土砂	m ³		170			
埋戻し(2)	流用土	m ³		90			
土砂等運搬	土質土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m ³		60			
護岸工		式		1			
現場打基礎	18-5-40BB	m		15			

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（市単独工事）			当初		事業区分 河川改修	
							工事区分 築堤・護岸	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
張コンクリート		18-3-40BB	式		1			
雑工			式		1			
防草コンクリート		幅100cm; 高さ100cm; コンクリート規格18-8-25(20) (高炉)	式		1			
ガードレール(1)		Gr-C-4E	m		30			
さく井			式		1			
直接工事費			式		1			
共通仮設費			式		1			
共通仮設費（率計上）			式		1			

工事数量総括表

		工事名 令和3年度下工公補第25号 野田調整池築造工事（市単独工事）			当初		事業区分 河川改修	
							工事区分 共通仮設費	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
純工事費			式		1			
現場管理費			式		1			
工事原価			式		1			
一般管理費等			式		1			
工事価格			式		1			
消費税相当額			式		1			
工事費計			式		1			

令和3年度下工公補第25号

野田調整池築造工事

数量総括表

(補助対象工事)

レベル1 : 築堤・護岸

レベル1 : 道路改良

レベル1 : 舗装

レベル1 : 共通仮設

レベル1 : スクラップ評価額

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
築堤・護岸					式	1	
	水路工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り	土砂	m3	230	
			埋戻し(1)	RC-40	m3	10	
			埋戻しコンクリート	18-8-40BB	m3	96	
			型枠		m2	80	
			丸太		m3	8	
			円形型枠	φ100	m	89	
			土砂等運搬	土砂	m3	230	
		水路工			式	1	
			L型水路	W4000×H1900・2800	m	30	
			L型水路材料費	H=1900・2800	式	1	
		雑工			式	1	
			削孔(1)	L=360 φ120	箇所	33	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			削孔(2)	L=360 φ500	箇所	18	
			隔壁	H=2410 18-8-40BB	式	1	
			既設管閉塞	18-8-40BB	式	1	
			転落防止柵	H=1.1m 土中建込用	m	3	縦格子 白色
			マンホールシフト設備移設		式	1	
	構造物撤去工				式	1	
		防護柵撤去工			式	1	
			防護柵撤去(1)	H=0.6m	m	30	
		構造物取壊し工			式	1	
			コンクリート構造物取壊し(1)	鉄筋構造物	m3	36	
			コンクリート切断	t=360	m	83	
			ウォールソーイング	t=360 横断方向	m	62	
			鋼材切断	300×300×10×15	箇所	19	
			コンクリート取壊し運搬処理(1)	鉄筋構造物	m3	36	
	仮設工				式	1	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
		土留・仮締切工			式	1	
			H鋼杭打込(1)	300×300×10×15 杭長 L=7000	本	37	購入材 平均打込長L=6370
			グラウト注入	セメントミルク	m3	19	
			切梁・腹起し	設置・撤去 300×300×10×15	t	11.5	
			横矢板	設置・撤去 まつ t=45	m2	82	
			H鋼杭・支保材損料等(1)		式	1	
			大型土のう(1)	製作・設置・撤去	袋	27	
			土留工用盛土	山土	m3	20	
			土留工用盛土撤去	土砂	m3	20	
			工事用盛土	山土	m3	180	
			碎石敷均し(1)	RC-40 t=200	m3	20	
			碎石敷均し(2)	RC-40 t=100	m3	20	
			工事用盛土撤去	土砂	m3	180	
			土砂等運搬	土砂	m3	230	
		仮水路工			式	1	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			大型土のう(2)	製作・設置・撤去	袋	6	1年耐候性
			土砂等運搬	土砂	m3	5	
道路改良					式	1	
	道路土工				式	1	
		掘削工			式	1	
			掘削	土砂	m3	40	
			土砂等運搬	土砂	m3	40	
	石・ブロック積工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り	土砂	m3	20	
			埋戻し(2)	流用土	m3	10	
		コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積)			式	1	
			コンクリートブロック基礎	18-5-40BB	m	8	
			コンクリートブロック積	1:0.5 裏コン15cm 控えt=350	m2	25	
			裏込砕石	RC-40	m3	15	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			天端コンクリート	18-8-25BB	m	8	
			小口止コンクリート	18-8-40BB	基	1	
	カバート工 B4000×H2400				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り	土砂	m3	80	
			埋戻し(1)	RC-40	m3	50	
			土砂等運搬	土砂	m3	80	
		プラスチックカバート工			式	1	
			プラスチックボックス	B4000×H2400	式	1	2分割 T-25
			プラスチックボックス材料費	B4000×H2400	式	1	2分割 T-25
		地覆工			式	1	
			場所打地覆	W=600	式	1	
		雑工			式	1	
			取付水路	H2700×B4000	式	1	
	排水構造物工				式	1	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
		側溝工			式	1	
			プラスチックU型側溝	3種 250	m	3	リサイクル認定製品
			側溝蓋	3種 コンクリート蓋 騒音防止機能付 250用	枚	5	リサイクル認定製品
		集水柵工			式	1	
			現場打集水柵	□1500×1500×H3700	基	1	
		管渠工			式	1	
			ヒューム管	Φ900	式	1	
	付帯道路工				式	1	
		路側防護柵工			式	1	
			ガードレール(1)	Gr-C-4E	m	64	
			ガードレール(3)	Gr-C-4E	m	46	R30以下
		法面整形工			式	1	
			法面整形 (盛土部)	法面締固め無	m2	840	
		作業土工			式	1	
			掘削	土砂	m3	330	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			路床盛土	山土	m3	570	CBR8以上
			路体盛土	山土	m3	1,600	
			土砂等運搬	土砂	m3	320	
		アスファルト舗装工			式	1	
			路盤	RC-40 t=20cm	m2	588	
			表層(2)	再生密粒度As TOP13 2.35t/m3 t=5cm	m2	580	
		区画線工			式	1	
			溶融式区画線(1)	白色 実線 W=15cm	m	270	未供用区間
			溶融式区画線(2)	矢印・記号・文字 15cm換算	m	10	未供用区間
			溶融式区画線(3)	白色 実線 W=15cm	m	92	供用区間
			区画線消去	削取り式	m	110	
		雑工			式	1	
			道路反射鏡	支柱・鏡・基礎 再利用	箇所	2	
	構造物撤去工				式	1	
		防護柵撤去工			式	1	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			防護柵撤去(2) (ガードレール)	Gr-C-2B	m	18	
			防護柵撤去(3) (ガードレール)	Gr-C-4E	m	20	
		構造物取壊し工			式	1	
			コンクリート構造物取壊し(1)	鉄筋構造物	m3	52	
			コンクリート構造物取壊し(2)	無筋構造物	m3	6	
			舗装版切断	As版	m	18	
			舗装版破碎	As版 t=5cm	m2	77	
			ウォールソーイング	t=360 横断方向	m	60	
			鋼材切断	300×300×10×15	箇所	17	
			コンクリート取壊し運搬処理(1)	鉄筋構造物	m3	52	
			コンクリート取壊し運搬処理(2)	無筋構造物	m3	6	
			道路反射鏡撤去	支柱・鏡・基礎 再利用撤去	箇所	2	
		運搬処理工			式	1	
			殻運搬	As殻	m3	4	
			殻処分	As殻	m3	4	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			現場発生品運搬(1)	鋼材	回	1	
			現場発生品運搬(2)	廃プラ	回	1	
			産業廃棄物処分費	廃プラ(塩ビ管以外)	t	0.1	
	仮設工				式	1	
		土留・仮締切工			式	1	
			H鋼杭打込(2)	300×300×10×15 杭長 L=8500	本	17	購入材 平均打込長L=7750
			グラウト注入	セメントミルク	m3	14	
			横矢板	設置・撤去 まつ t=45mm	m2	57	
			H鋼杭・支保材損料等(2)		式	1	
			大型土のう(1)	製作・設置・撤去	袋	6	
			土砂等運搬	土砂	m3	5	
		水替工			式	1	
			ポンプ排水	常時排水 商用電源	式	1	
		電力設備工			式	1	
			低圧受電設備設置撤去	25kw以下	箇所	1	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
		仮水路工			式	1	
			暗渠排水管	高密度ポリエチレン管 φ900	m	84	
			大型土のう(3)	製作・設置	袋	270	1年耐候性
		交通管理工			式	1	
			交通誘導警備員	交通誘導警備員(B)	人日	172	
舗装					式	1	
	舗装工				式	1	
		舗装準備工			式	1	
			調整コンクリート	18-8-25BB	m2	36	
		橋面防水工			式	1	
			橋面防水	塗膜系防水	m2	36	
		アスファルト舗装工			式	1	
			路盤	RC-40 t=20cm	m2	41	
			基層	ポリマー改質AsⅢ型 t=4cm	m2	36	
			表層(1)	再生密粒度As TOP13 2.35t/m3 t=4cm	m2	36	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
			表層(2)	再生密粒度As TOP13 2.35t/m ³ t=5cm	m ²	41	
	防護柵工				式	1	
		路側防護柵工			式	1	
			ガードレール(2)	Gr-C-2B	m	18	
			現場打ガードレール基礎	21-8-40BB	式	1	
共通仮設					式	1	
	共通仮設費				式	1	
		運搬費			式	1	
			重建設機械分解組立費	圧入機	回	1	
			仮設材運搬費(1)	往復	式	1	11.1t
			仮設材運搬費(2)	往路	式	1	20.3t
			仮設材等積込取卸し(1)	往復	式	1	11.1t
			仮設材等積込取卸し(2)	往路	式	1	20.3t
		事業損失防止施設費			式	1	
			家屋調査費		式	1	

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
		役務費			式	1	
			電力基本料金	低圧電力 臨時契約	式	1	
		技術管理費			式	1	
			土質等試験費		式	1	
スクラップ評価額					式	1	
	スクラップ評価額				式	1	
		スクラップ評価額			式	1	
			スクラップ 控除(1)	へび-H1	t	0.5	
			スクラップ 控除(2)	へび-H2	t	0.9	
			スクラップ 控除(3)	へび-H3	t	0.6	

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
水路工	作業土工	床掘り	土砂 作業土工(L型水路)計算書参照	V = 231.8	m3	231.8
		埋戻し(1)	RC-40 作業土工(L型水路)計算書参照	V = 11.9	m3	11.9
		埋戻しコンクリート	18-8-40BB 作業土工(L型水路)計算書参照 $\frac{96.4 - 0.80 \times (1.64 + 0.40)}{2}$	V = 95.6	m3	95.6
		型枠	$2.70 + 3.30$ $+ 2.27 \times (25.00 - 0.30)$ $\times 17.00$ $+ 1.44 \times (25.00 - 0.30)$ $\times 17.00$	A = 79.8	m2	79.8
		モルタル	作業土工(L型水路)計算書参照	V = 8.3	m3	8.3
		円形型枠	$\phi 100$ 2.70×33.00	L = 89.1	m	89.1
		土砂等運搬	土砂 床掘り参照	V = 231.8	m3	231.8

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量		
構造物撤去工	水路工	L型水路	W4000×H1900・2800 単位数量計算書参照	L = 29.50	m	29.5	
		L型水路材料費	H1900・2800 単位数量計算書参照	N = 1.00	式	1.0	
	雑工	削孔(1)	削孔長L=360 削孔径φ120	N = 33.00	箇所	33.0	
		削孔(2)	削孔長L=360 削孔径φ500	N = 18.00	箇所	18.0	
		隔壁	H=2410 18-8-40BB 単位数量計算書参照	N = 1.00	式	1.0	
		既設管閉塞	18-8-40BB 単位数量計算書参照	N = 1.00	式	1.0	
		転落防止柵	H=1.1m 土中建込用 縦格子 白色	L = 3.00	m	3.0	
		マンホールのンフ設備移設	電気設備明細書及び単位数量計算書(複合工費(引込柱移設))参照	N = 1.00	式	1.0	
		防護柵撤去工	防護柵撤去(1)	H=0.6m 参考重量W=28.7kg/m 27.00 + 3.00	L = 30.00	m	30.0

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し(1)	鉄筋構造物 (L型水路取壊し) $0.17 \times 26.00 = 4.42$ (底張コンクリート取壊し) $78.90 \times 0.36 = 28.40$ (ゲート及びゲート保護コンクリート取壊し) $(2.60 \times 0.60 - 0.30 \times (1.25 + 0.50)) \times 2.80 = 2.90$ 既設管控除分φ900 $\frac{2.90 - (0.90 \times 0.90 \times \pi)}{4 \times 0.30} = 2.71$ $\Sigma V = 35.53$	m3	35.5
		コンクリート切断	t=360 $27.60 \times 3 = 82.80$	m	82.8
		ウォールソーイング	t=360 横断方向 $4.40 \times 14 = 61.60$	m	61.6
		鋼材切断	300×300×10×15 $19.00 = 19.00$	箇所	19.0
		コンクリート取壊し運搬処理(1)	鉄筋構造物 コンクリート構造物取壊し(1)参照 $V = 35.53$ (削孔(1)) $(0.12 \times 0.12 \times \pi \div 4) \times 0.36 \times 33 \div 2 = 0.07$ (削孔(2))		

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
仮設工	土留・仮締切工	H鋼杭打込(1)	$\left(\frac{0.50 \times 0.50 \times \pi}{4} \times 0.36 \times 18 \right) / 2 = 0.64$ $\Sigma V = 36.24$	m3	36.2
		H鋼杭打込(1)	オ-ガ 削孔根固め工法 300×300×10×15 杭長L=7000 参考重量W=0.093t/m 埋設材 平均打込長L=6370 左岸 右岸 19.00 + 18.00 N = 37.00	本	37.0
		グラウト注入	セメントミルク 削孔径φ450 L=6150 左岸及び右岸 $\frac{0.45 \times 0.45 \times \pi}{4} \times 3.29 \times 37.00 = 19.36$	m3	19.4
		切梁・腹起し	設置・撤去 H鋼杭・支保材損料等計算表【L型水路部】参照 W = 11.50	t	11.5
		横矢板	設置・撤去 まつ t=45cm $\begin{aligned} & 1.30 \times 3.71 \times 16.00 + 0.80 \\ & \times 3.71 \times 1.00 + 0.60 \times 3.71 \\ & \times 1.00 \end{aligned}$ $A = 82.36$	m2	82.4
		H鋼杭・支保材損料等(1)	H鋼杭・支保材損料等計算表【L型水路】参照		

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			設置質量 N = 1.00	式	1.0
			撤去質量 (賃料) W = 35.591		
			撤去質量 (スクラップ) W = 11.139		
			埋設材1800mm切断 W = 3.181		
			副部材(B) W = 0.365		
			未撤去質量【埋設(全損)】 W = 20.906		
		大型土のう(1)	製作・設置・撤去 N = 27.00	袋	27.0
		土留工用盛土	工事用盛土計算書参照 路体盛土 山土 V = 23.90	m3	23.9
		土留工用盛土撤去	工事用盛土計算書参照 土砂 V = 23.90	m3	23.9
		工事用盛土	工事用盛土計算書参照 路体盛土 山土 V = 179.20	m3	179.2
		砕石敷均し(1)	仮設工図(参考)参照 RC-40 t=200		

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量		
道路土工	仮水路工	砕石敷均し(2)	80.8 × 0.2 仮設工図(参考)参照 RC-40 t=100	V = 16.16	m3	16.2	
		工事用盛土撤去	163.0 × 0.1 工事用盛土計算書参照 土砂	V = 16.30	m3	16.3	
		土砂等運搬	大型土のう(1)及び土留工用盛土撤去参照 土砂	V = 179.20	m3	179.2	
	掘削工	仮水路工	土砂等運搬	27.00 × 0.83 + 23.90 + 179.20 大型土のう(1)及び土留工用盛土撤去参照 土砂	V = 225.51	m3	225.5
			大型土のう(2)	製作・設置・撤去 1年耐候性	N = 6.00	袋	6.0
		掘削工	土砂等運搬	大型土のう(2)撤去参照 土砂	V = 4.98	m3	5.0
			掘削	工法図(2)参照 土砂 コンクリートブロック積(1) 2.7 × 2.5 コンクリートブロック積(2)及び小口止コンクリート	V = 6.8		

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
石・ブロック積工	残土処理工	土砂等運搬	2.7 × 6.0 V = 16.2	m3	35.6
			フレキャストボックス 1.4 × 9.0 V = 12.6		
				$\Sigma V = 35.6$	
	作業土工	土砂等運搬	土砂 掘削・床掘り・埋戻し参照 (35.6 + 17.9) - 13.6 / 0.9	V = 38.4	m3
床掘り		土砂 コンクリートブロック積(1) 2.1 × 2.5 V = 5.3	V = 5.3	m3	17.9
			コンクリートブロック積(2)及び小口止コンクリート 2.1 × 6.0 V = 12.6		
			$\Sigma V = 17.9$		
コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積)	埋戻し(2)	流用土 コンクリートブロック積(1) 1.6 × 2.5 V = 4.0	V = 4.0	m3	13.6
			コンクリートブロック積(2)及び小口止コンクリート 1.6 × 6.0 V = 9.6		
				$\Sigma V = 13.6$	
	コンクリートブロック基礎		18-5-40BB		

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
加ハート工	作業土工	コンクリートブロック積	単位数量計算書参照 【プレキャストボックス下流側取付部】 (1) = 2.5 (2) = 5.7 <hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/> ΣL = 8.20	m	8.2
			1:0.5 裏コン15cm 環境配慮型 控えt=350 【プレキャストボックス下流側取付部】 (1) 3.0 × 2.5 = 7.5 (2) 3.0 × 5.7 = 17.1 <hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/> ΣA = 24.6	m2	24.6
			裏込砕石 RC-40 【プレキャストボックス下流側取付部】 (1) 1.78 × 2.50 = 4.45 (2) 1.78 × 5.70 = 10.15 <hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/> ΣV = 14.60	m3	14.6
			天端コンクリート 18-8-25BB 【プレキャストボックス下流側取付部】 (1) = 2.50 (2) = 5.70 <hr style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/> ΣL = 8.20	m	8.2
			小口止コンクリート 18-8-40BB 単位数量計算書参照 N = 1.00	基	1.0

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
排水構造物工	フレキャストカルバート工	床掘り	土砂 9.3 × 9.0 V = 83.7	m3	83.7	
		埋戻し(1)	RC-40 5.1 × 9.0 V = 45.9	m3	45.9	
		土砂等運搬	土砂 床掘り参照 V = 83.7	m3	83.7	
	地覆工	フレキャストボックス	B4000×H2400 2分割 T-25 単位数量計算書参照	N = 1.00	式	1.0
		フレキャストボックス材料費	B4000×H2400 2分割 T-25 単位数量計算書参照	N = 1.00	式	1.0
		場所打地覆	W600 単位数量計算書参照	N = 1.00	式	1.0
		雑工	取付水路	H2700×B4000 単位数量計算書参照	N = 1.00	式
側溝工	フレキャストU型側溝	3種 250 リサイクル認定製品				

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
付帯道路工	集水柵工	側溝蓋	単位数量計算書参照 L = 2.50	m	2.5
			3種 コンクリート蓋 騒音防止機能付 250用 リサイクル認定製品 N = 5.00	枚	5.0
		現場打集水柵	□1500×1500×H3700 単位数量計算書 N = 1.00	基	1.0
			管渠工	ヒューム管 φ900 L=8.0m 単位数量計算書参照 N = 1.00	式
	路側防護柵工	ガードレール(1)	Gr-C-4E 16.5 + 12.2 + 24.0 + 11.0 L = 63.7	m	63.7
		ガードレール(3)	Gr-C-4E R30以下 10.4 + 7.9 + 16.9 + 10.5 L = 45.7	m	45.7
	法面整形工	法面整形 (盛土部)	法面締固め無 付帯道路工計算書参照 A = 839.8	m2	839.8

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	作業土工	掘削	付帯道路土工計算書【掘削及び掘削（表土）】参照 土砂 $39.6 + 285.3$	V = 324.9	m3 324.9
		路床盛土	付帯道路土工計算書参照 山土 CBR8以上	V = 569.9	m3 569.9
		路体盛土	付帯道路土工計算書参照 山土 高密度ホリフィ管控除分 $1656.2 - (1.0 \times 1.0 \times \pi \div 4 \times 12.0 \times 3.0)$	V = 1627.9	m3 1,627.9
		土砂等運搬	付帯道路土工計算書【掘削、表土剥ぎ取り】参照 $39.6 + 285.3$	V = 324.9	m3 324.9
	アスファルト舗装工	路盤	付帯道路工面積計算書参照 RC-40 t=20cm	A = 587.80	m2 587.8
		表層(2)	付帯道路工面積計算書参照 再生密粒度As TOP13 2.35t/m3 t=5cm	A = 579.60	m2 579.6
	区画線工	熔融式区画線(1)	白色 実線W=15cm 未供用区間 車道外側線 $78.30 + 21.00 + 90.9$	L = 190.20	

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
構造物撤去工	防護柵撤去工	溶融式区画線(2)	中央線 77.70	$L = 77.70$	m	267.9
				$\Sigma L = 267.90$		
			矢印・記号・文字 15cm換算 未供用区間 2.00 × 3.00 + 0.85 × 3.00 = 8.55		m	10.3
			重複区分 8.55 × 1.20	$L = 10.26$		
	溶融式区画線(3)	白色 実線W=15cm 供用区間 車道外側線 29.00 + 16.90 + 16.00	$L = 61.90$	m	91.5	
		中央線 20.60 + 9.00	$L = 29.60$			
		区画線消去	削取り式 既設車道外側線 7.00 + 7.00	$L = 14.00$	m	105.5
			区画線(3)参照 91.50	$L = 91.50$		
		道路反射鏡	支柱・鏡・基礎(再利用)	$N = 2.00$	箇所	2.0

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	構造物取壊し工	防護柵撤去(2) (ガードレール)	Gr-C-2B 参考重量W=17.3kg/m 4.60 + 13.10 L = 17.70	m	17.7
		防護柵撤去(3) (ガードレール)	Gr-C-4E 構造物撤去工平面図参照 L = 20.00	m	20.0
		コンクリート構造物取壊し(1)	鉄筋構造物 (フレキャストボックス取壊し) 3.63 × 9.00 = 32.67 (地覆取壊し) 0.16 × 4.60 × 2 = 1.47 (現場打ガードレール基礎取壊し) 0.40 × 2.50 = 1.00 (U型側溝取壊し) 0.14 × 1.50 = 0.21 (ボックスカルバート 下流側取付部) = 13.53 (ボックスカルバート 上流側取付部(右岸)) = 0.60 (ボックスカルバート 上流側取付部(左岸)) = 1.10 (ボックスカルバート 上流側取付部(底張り)) = 1.77 ΣV = 52.35	m3	52.4
		コンクリート構造物取壊し(2)	無筋構造物 (ブロック積取壊し) 2.21 × 2.50 = 5.53	m3	5.5
		舗装版切断	構造物撤去工詳細図(2)参照 As版 8.30 + 9.20 L = 17.50	m	17.5

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		舗装版破碎	構造物撤去工詳細図(2)参照 As t=5cm A = 76.50	m2	77.0
		ウォールディング	t=360 横断方向 10.00 × 6 L = 60.00	m	60.0
		鋼材切断	300×300×10×15 N = 17.00	箇所	17.0
		コンクリート取壊し運搬処理(1)	コンクリート構造物取壊し(1)参照 鉄筋構造物 V = 52.35	m3	52.4
		コンクリート取壊し運搬処理(2)	コンクリート構造物取壊し(2)参照 無筋構造物 V = 5.53	m3	5.5
		道路反射鏡撤去	支柱・鏡・基礎(再利用撤去) N = 2.00	箇所	2.0
	運搬処理工	殻運搬	舗装版破碎参照 76.50 × 0.05 V = 3.83	m3	3.8
	運搬処理工	殻運搬	殻運搬参照 V = 3.83	m3	3.8
		現場発生品運搬(1)	L型水路部 【H1】 鋼製簡易ゲート 参考重量 W=168.1kg/基		

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			$168.1 \div 1000 = 0.1681$ W = 0.17 H鋼杭・支保材損料等(1)参照 0.365 W = 0.37 【H2】 防護柵撤去(1)参照 参考重量W=28.7kg/m $30.00 \times 28.7 \div 1000$ W = 0.86 プレキャストボックス部 防護柵撤去(2)参照 【H3】 ガードレール(Gr-C-2B) 参考重量t=17.3kg/m $17.70 \times 17.30 \div 1000$ W = 0.31 防護柵撤去(3)参照 【H3】 ガードレール(Gr-C-4E) 参考重量t=16.2kg/m $20.00 \times 16.20 \div 1000$ W = 0.32 <hr style="width: 100%;"/> $\Sigma W = 2.03$ $N = 1.00$		
		現場発生品運搬(2)	L型水路部 土留・仮締切工 廃プラ 大型土のう(2)参照 【大型土のう袋】0.0024t/袋 $27.00 \times 0.0024 = 0.0648$ W = 0.06 仮水路工 廃プラ 大型土のう(2)参照 【大型土のう袋】0.0024t/袋 $6.00 \times 0.0024 = 0.0144$ W = 0.01 プレキャストボックス部 廃プラ 土留・仮締切工 大型土のう参照	回	1.0

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
仮設工	土留・仮締切工		【大型土のう袋】0.0024t/袋 $6.00 \times 0.0024 = 0.0144$			
				$W = 0.01$ $\Sigma W = 0.08$ $N = 1.00$	回	1.0
			産業廃棄物処分費	現場発生品運搬(2)参照 廃プラ(塩ビ管以外)	$W = 0.08$	t
		H鋼杭打込(2)	オーク削孔根固め工法 300×300×10×15 杭長L=8500 参考重量W=0.093t/m 埋設材 平均打込長L=7750 左岸及び右岸 17.00	$N = 17.00$	本	17.0
		グラウト注入	セメントミルク 削孔径φ450 平均打込長L=7750 左岸及び右岸 $0.450 \times 0.450 \times \pi \div 4$ $\times 5.085 \times 17.00$	$V = 13.75$	m3	13.7
		横矢板	設置・撤去 まつ t=45cm $1.30 \times 2.92 \times 15.00$	$A = 56.94$	m2	56.9
		H鋼杭・支保材等損料(2)	H鋼杭・支保材損料等計算表【プレキャストカルバート部】参照 設置質量	$N = 1.00$	式	1.0

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			撤去質量 (スクラップ) 埋設材150mm切断 W = 13.44		
			未撤去質量【埋設 (全損)】 W = 2.372		
		大型土のう (1)	製作・設置・撤去 W = 11.067		
		土砂等運搬	大型土のう撤去参照 土砂 6.00 × 0.83 V = 4.98	袋	6.0
	水替工	ポンプ排水	常時排水 商用電源 単位数量計算書参照 N = 1.00	式	1.0
	電力設備工	低圧受電設備設置撤去	25kw以下 単位数量計算書【ポンプ排水】参照 3か月以下 N = 1.00	箇所	1.0
	仮水路工	暗渠排水管	高密度ポリエチレン管 φ900 28.00 × 3.00 L = 84.00	m	84.0
		大型土のう (3)	製作・設置 1年耐候性		

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
舗装工	交通管理工	交通誘導警備員	N = 270.00	袋	270.0	
			N = 172.00	人日	172.0	
	舗装準備工	調整コンクリート	工法図(3)参照 18-8-25BB t(平均)=15cm	A = 35.80	m2	35.8
			工法図(3)参照 塗膜系防水	A = 35.80	m2	35.8
	橋面防水工	橋面防水	工法図(3)参照 RC-40 t=20cm 20.4 + 20.3	A = 40.70	m2	40.7
			工法図(3)参照 ホリマー改質アスファルトⅢ型 t=4cm 35.80	A = 35.80	m2	35.8
	アスファルト舗装工	路盤	工法図(3)参照 再生密粒度As TOP13 2.35t/m3 t=4cm 35.80	A = 35.80	m2	35.8
			工法図(3)参照	A = 35.80	m2	35.8
		基層	工法図(3)参照			
		表層(1)	工法図(3)参照			
		表層(2)	工法図(3)参照			

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
防護柵工	路側防護柵工	ガードレール(2)	再生密粒度As TOP13 2.35t/m ³ t=5cm 20.40 + 20.30	A = 40.70	m ²	40.7
			Gr-C-2B 4.50 + 13.00	L = 17.50	m	17.5
共通仮設費	運搬費	現場打ガードレール基礎	21-8-40BB 単位数量計算書参照	N = 1.00	式	1.0
		重建設機械分解組立費	圧入機	N = 1.00	回	1.0
		仮設材運搬(1)	往復 W=11.14t 切梁・腹起し及び副部材A【L型水路】 切梁・腹起し参照 H-300×300×10×15 L=8500 参考重量t=0.100t/m	N = 1.00 W = 11.14	式	1.0
		仮設材運搬(2)	往路 W=20.26t H鋼杭【L型水路】 H鋼杭・支保材損料等計算書【L型水路】参照 H鋼杭【フレキャストカルバート】 H鋼杭・支保材損料等計算書【フレキャストカルバート】参照	N = 1.00 W = 9.19 W = 11.07	式	1.0

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
スクラップ 評価額	事業損失防止施設費 役務費 技術管理費 スクラップ 評価額		$\Sigma W = 20.26$		
		仮設材等積込取卸し(1)	往復 W=11.14t N = 1.00	式	1.0
		仮設材等積込取卸し(2)	往路 W=20.26t N = 1.00	式	1.0
		家屋調査費	木造建築物A 130m2未満 1棟 技術経費・諸経費等含む N = 1.00	式	1.0
		電力基本料金	低圧電力 臨時契約 N = 1.00	式	1.0
		土質等試験費	 N = 1.00 キャスホル簡易支持力試験 1.00 試料 コン指数調査 1.00 試料 突固めによる土の締固め試験モルト径15cm ランマー2.5kg 1.00 試料	式	1.0
		スクラップ 控除(1)	現場発生品運搬(1)参照 【H1】 鋼製簡易ゲート 副部材B W = 0.17 W = 0.37 <hr/> $\Sigma W = 0.54$	t	0.5
		スクラップ 控除(2)	現場発生品運搬(1)参照 【H2】 防護柵 W = 0.86	t	0.9

数量計算書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		スクラップ控除(3)	現場発生品運搬(1)参照 【H3】ガートレル 0.31 + 0.32 W = 0.63	t	0.6

電気設備明細表

種別	細別	材料	形状寸法	数量	単位	単価	金額	摘要
材料費				1	式	—	—	
	電線類	EM-CE 600V 5.5sq-3c		3.80	m	—	—	
	"	EM-CE 600V 5.5sq-2c		3.30	m	—	—	
	"	EM-CEE/F-S 2sq-4c		1.00	m	—	—	
	"	EM-CEE/F 1.25sq-2c		1.00	m	—	—	
	電線類 付属材料	(絶縁キヤッチ・マークパン ド・クォーナル記号札等を含 む)		1	式	—	—	
	電線管	HIVE22		7.10	m	—	—	
	電線管 付属材料	(接合材・端末器具・塗 装・支持材料などを含む)		1	式	—	—	
	電線管	金属可とう電線管 φ30		1.00	m	—	—	
	"	金属可とう電線管 φ24		2.00	m	—	—	
	電線管 付属材料	(接合材・端末器具・塗 装・支持材料などを含む)		1	式	—	—	
	ナルボックス	完全防水 SUS製	250×200 ×150	1	個	—	—	
	補助 材料費			1	式	—	—	
計 (材料費)								

電気設備明細表

種別	細別	材料	形状寸法	数量	単位	単価	金額	摘要
労務費				1	式	—	—	
	一般労務費			1	式	—	—	
	電工			18	人	—	—	
	小計					—	—	
	(一般労務費)							
	技術労務費			1	式	—	—	
	電気通信技術者	据付工		7	人	—	—	
	電気通信技術者	単体調整工		3	人	—	—	
	小計					—	—	
	(技術労務費)							
	計					—	—	
	(労務費)							

単 位 数 量 計 算 書

細別	L型水路			10.0m	細別	L型水路			10.0m		
規格	W4000×H1900・2800			当り	規格	W4000×H1900・2800			当り		
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量		
部材据付費	H1900・2800 L=		= 10.00	m	10.00	現場打コンクリート	24-12-25BB V= 2.28×0.26×10.00		= 5.93	m3	5.93
敷モルタル	1:3 V= (1.10+1.10)×0.02×10.00		= 0.44	m3	0.44	鉄筋	SD345 主筋D16 単位体積重量 t=1.560kg/m W= 2.280×1.560=3.557				
基礎コンクリート	24-12-25BB t=150 V= 4.68×0.15×10.00		= 7.02	m3	7.02		3.557×80		= 284.56	kg	
均し型枠	A= (0.15+0.15)×10.00		= 3.00	m2	3.00		0.28			t	0.28
鉄筋	SD345 主筋D13 単位体積重量 t=0.995kg/m W= 4.480×0.995=4.458						SD345 配力筋D13 単位体積重量 t=0.995kg/m W= 10.000×0.995=9.950				
	4.458×35=156.03		= 156.03	kg			9.950×13		= 89.55	kg	
	SD345 配力筋D13 単位体積重量 t=0.995kg/m W=10×0.995=9.950						0.09			t	0.09
	9.950×16=159.20		= 159.20	kg							
	Σ W= 315.23			kg							
	0.32			t	0.32						
基礎材	RC-40 t=100 A= 4.68×10.00		= 46.80	m2	46.80						
基面整正	A= 4.68×10.00		= 46.80	m2	46.80						

単 位 数 量 計 算 書

細別	L型水路材料費		1式	細別	L型水路材料費		1式	
規格	H1900・2800		当り	規格	H1900・2800		当り	
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量	
L型水路ブロック	L型水路詳細図より			L型水路ブロック	製品番号L-1(天端加工) 調整用 天端斜角 H1900 2800×L1400			
	H2800×L2000 標準				N=	= 1.00	本	1.00
	N=	= 12.00	本		12.00			
	製品番号R-1 H2800×L1400 調整用				N=	= 1.00	本	1.00
	N=	= 1.00	本		1.00			
	製品番号R-16 H2800×L1150 調整用				N=	= 1.00	本	1.00
	N=	= 1.00	本		1.00			
製品番号R-2 H2800×L1035 1230 逆斜角			N=	= 1.00	本	1.00		
N=	= 1.00	本	1.00					
製品番号R-3 H2800×L1076 1271 逆斜角			N=	= 1.00	本	1.00		
N=	= 1.00	本	1.00					
H1900×L2000(天端加工) 標準			N=	= 11.00	本	11.00		
N=	= 11.00	本	11.00					
製品番号L-13(天端加工) H1900×L2000 側壁開口 H475×L470			N=	= 1.00	本	1.00		
N=	= 1.00	本	1.00					

単 位 数 量 計 算 書

細別	隔壁		1式	細別	既設管閉塞		1式		
規格	H2410 18-8-40BB		当り	規格	18-8-40BB		当り		
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
コンクリート	18-8-40BB $V = (1.20 + 1.09) / 2 \times 2.41 \times (0.4 + 1.64) / 2$ $= 2.81$		m3	2.81	コンクリート	HP φ 900閉塞 18-8-40BB $V = 1.08 \times 1.08 \times 0.3 = 0.35$		m3	0.35
同上型枠	$A = (1.20 + 1.09) / 2 \times 2.41 + (0.40 + 1.64) / 2 \times 2.41$ $+ (1.20 + 1.09) / 2 \times 2.71 = 8.32$		m2	8.32	同上型枠	$A = 1.08 \times 1.08 \times 2 + 1.08 \times 0.3 \times 2 = 2.98$		m2	2.98
基面整正	$A = 1.09 \times 1.64 = 1.79$		m2	1.79					

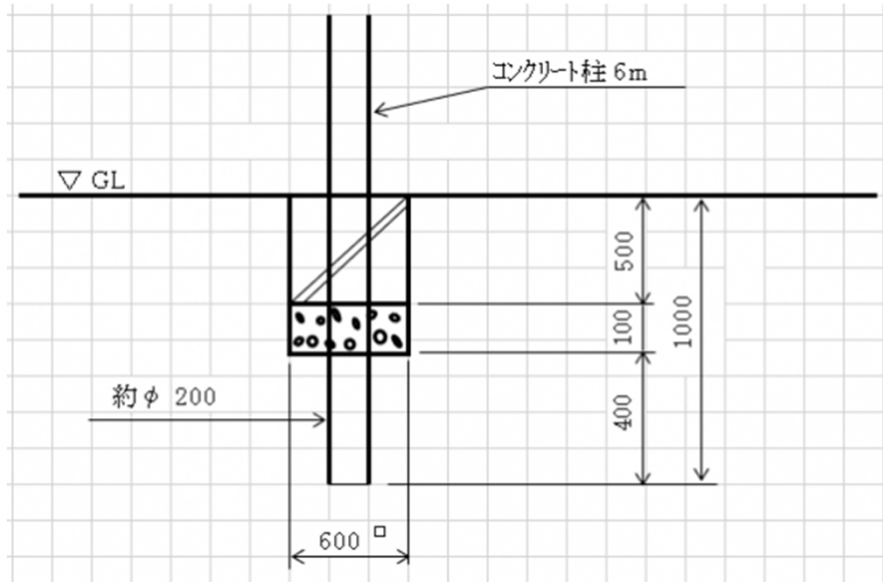
単 位 数 量 計 算 書

細別	複合工費(引込柱移設)			1式	細別	複合工費(引込柱移設)			1式	
規格				当り	規格				当り	
名称	算式	単位	数量		名称	算式	単位	数量		
鋼管ボルト設置	N=	= 1.00	本	1.00	コンクリート	18-8-25BB V= 0.50 × (0.60 × 0.60 - 0.200 × 0.200 × π/4) × 2 = 0.33	m3	0.33		
鋼管ボルト部D種設置	N=	= 1.00	本	1.00	同上型枠	A= 0.60 × 0.50 × 4 × 2 = 2.40	m2	2.40		
鋼管ボルト φ127-7.5-50	N=	= 1.00	本	1.00	コンクリート構造物取壊し(1)	0.50 × (0.60 × 0.60 - 0.20 × 0.20 × π/4) × 2 V= = 0.33	m3	0.33		
接地棒 φ14-1500	N= 3.00 × 2	= 6.00	本	6.00	コンクリート取壊し運搬処理(1)	無筋コンクリート コンクリート構造物取壊し(1)参照				
接地極用 リード線 φ14用	N= 3.00 × 2	= 6.00	個	6.00		V= = 0.33	m3	0.33		
既設柱撤去	コンクリート柱撤去(再利用)	N=	= 1.00	式	1.00	建柱車リース	N=	= 1.00	日	1.00
コンクリート柱建柱 (再利用)	N= 7.0m以下	= 1.00	本	1.00	強力吸引車	N=	= 2.00	日	2.00	
鋼管ボルト撤去 φ127-7.5-50	N=	= 1.00	本	1.00						
碎石基礎 RC-40 t=100	A= (0.60 × 0.60 - 0.200 × 0.200 × π/4) × 2 = 0.66		m2	0.66						

単 位 数 量 計 算 書

細別	複合工費(引込柱移設)	1式
規格		当り

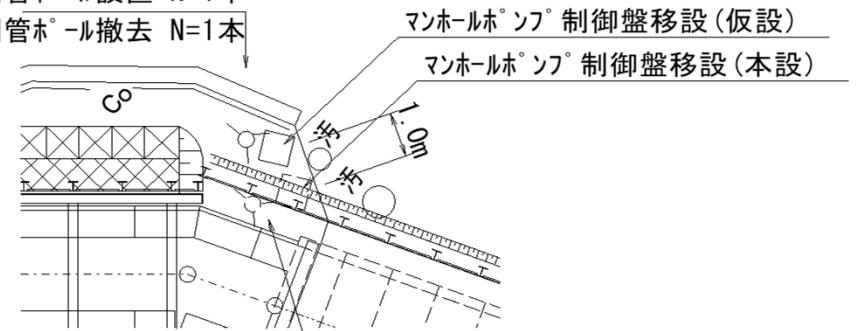
名称	算式	単位	数量
----	----	----	----



細別	複合工費(引込柱移設)	1式
規格		当り

名称	算式	単位	数量
----	----	----	----

鋼管ホールの設置 N=1本
 鋼管ホールの撤去 N=1本



既設柱撤去 N=1式
 コンクリート柱設置(再利用) N=1本

単 位 数 量 計 算 書

細別	小口止コンクリート		1.0基	細別	プラスチック		1式
規格	18-8-40BB		当り	規格	B4000×H2400 2分割 T-25		当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB $V = ((0.84+1.15)/2 \times 3.14 - 0.23 \times (0.84-0.75)/2) \times 0.3$ = 0.93	m3	0.93	プラスチック	B4000×H2400 2分割 T-25 連結金具n=12(端部n=6) $L =$ = 9.00	m	9.00
同上型枠	$A = ((0.84+1.15)/2 \times 3.14 \times 2 - 0.23 \times (0.84-0.75)/2 \times 2 + 3.51 \times 0.3$ = 7.28	m2	7.28	敷モルタル	1:3 $V = 4.50 \times 0.02 \times 9.00$ = 0.81	m3	0.81
基面整正	$A = 0.30 \times 1.15$ = 0.35	m2	0.35	均しコンクリート	18-8-40BB $V = 4.70 \times 0.20 \times 9.00$ = 8.46	m3	8.46
				均し型枠	$A = (0.20+0.20) \times 9.00 + 4.70 \times 0.20$ = 4.54	m2	4.54
				基礎材	割栗石(5~15cm) t=250 $A = 4.70 \times 9.00$ = 42.30	m2	42.30
				基面整正	$A = 4.70 \times 9.00$ = 42.30	m2	42.30

単 位 数 量 計 算 書

細別	プラスチック材料費		1式	細別	場所打地覆		1式	
規格	B4000×H2400 2分割 T-25		当り	規格	W600		当り	
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量	
プラスチック	製品番号1 T-25 連結金具n=12 H2400×B4000×L1500 N=	= 4.00	個	4.00	コンクリート	24-12-25BB V= 0.60×0.42×4.50+0.60×0.47×4.50 = 2.40	m3	2.40
	製品番号2 T-25 連結金具n=6 H2400×B4000×L1500 アンカー差筋1 SD345 D16 L=480 n=36 N=	= 1.00	個	1.00	同上型枠	A= 0.42×2×4.50+0.47×2×4.50 + 0.42×0.60×2+0.47×0.60×2 = 9.08	m2	9.08
	製品番号3 T-25 連結金具n=6 H2400×B4000×L1500 アンカー差筋2 SD345 D16 L=530 n=36 N=	= 1.00	個	1.00	鉄筋	プラスチック構造図【鉄筋表】参照 単位体積重量 t=0.995kg/m (SD345 (D13)) W=	= 62.13 0.06	kg t
				円形型枠	φ200 N= 3.00×2×0.4	= 2.40	m	2.40

単 位 数 量 計 算 書

細別	取付水路	1式	細別	プレキャストU型側溝	10.0m		
規格	H2700×B4000	当り	規格	3種 250	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
コンクリート	24-12-25BB $(0.30+1.80)/2 \times 3.00 \times 0.30 \times 2$ $+ (1.65+1.80)/2 \times 0.30 \times 4.00 = 3.96$	m3	3.96	プレキャストU型側溝	3種 250 リサイクル認定製品 L= 10.00 = 10.00	m	10.00
同上型枠	$(0.30+1.80)/2 \times 3.00 \times 2.00$ $+ (0.30+1.64)/2 \times 3.00 \times 2.00$ $+ (3.00+3.35) \times 0.30$ $+ 0.30 \times 4.00 = 15.23$	m2	15.23	敷モルタル	1:3 V= $0.30 \times 0.03 \times 10.00 = 0.09$	m3	0.09
鉄筋	SD345 D25 参考重量t=3.98kg/m = 258.23	kg	0.26	均しコンクリート	18-8-40BB V= $0.40 \times 0.10 \times 10.00 = 0.40$	m3	0.40
鉄筋	SD345 D13 参考重量t=0.995kg/m = 53.96	kg	0.05	均し型枠	A= $(0.10+0.10) \times 10.00 = 2.00$	m2	2.00
均しコンクリート	18-8-40BB $1.90 \times 4.80 \times 0.10 = 0.91$	m3	0.91	基面整正	A= $0.40 \times 10.00 = 4.00$	m2	4.00
均し型枠	$(4.80+1.90) \times 0.10 = 0.67$	m2	0.67				
基面整正	$1.90 \times 4.80 = 9.12$	m2	9.12				
足場	枠組足場 $(4.60+2 \times 0.30+4.40) \times 3.00+3.00 \times 1.80$ = 33.60	掛m2	33.60				

単 位 数 量 計 算 書

細別	ヒュ-ム管		1式	細別	ヒュ-ム管		1.0基		
規格	φ 900 L=8.0m		当り	規格	φ 900 L=8.0m		当り		
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
ヒュ-ム管設置	φ 900								
	N=	= 8.00	m	8.00					
ヒュ-ム管	φ 900								
	L=	= 8.00	m	8.00					
均しコンクリート	18-8-40BB								
	1.25 × 8.00 × 0.10	= 1.00	m3	1.00					
均し型枠	(8.00+8.00+1.25) × 0.10	= 1.73	m2	1.73					
床掘り	土砂								
	V=6.8 × (8.0-1.7)	= 42.84	m3	42.84					
埋戻し	流用土								
	V=5.5 × (8.0-1.7)	= 34.65	m3	34.65					
土砂等運搬	V=42.84-34.65/0.9	= 4.34	m3	4.34					
基面整正	A=1.25 × (8.0-1.7)	= 7.88	m2	7.88					

単 位 数 量 計 算 書

細別	ヒューム管		1式	細別	現場打集水桝		1.0基
規格	φ900 L=8.0m		当り	規格	□1500×1500×H3700		当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
				コンクリート	24-12-25BB $V1 = 2.10 \times 2.10 \times 4.00 - 1.50 \times 1.50 \times 3.70$ $= 9.32$ $-V2 = \pi/4 \times 1.05^2 \times 0.30 \times 2$ $= -0.52$ $-V3 = \pi/4 \times (1.18 \times 1.05) \times 0.30$ $= -0.29$ $\Sigma V = 8.51$	m3	8.51
				同上型枠	$A1 = 2.10 \times 4.00 \times 4 + 1.50 \times 4 \times 3.70$ $= 55.80$ $-A2 = \pi/4 \times 1.05^2 \times 2 \times 2$ $= -3.46$ $-A3 = \pi/4 \times (1.18 \times 1.05) \times 2$ $= -1.95$ $\Sigma A = 50.39$	m2	50.39
				鉄筋	SD345 D13 $= 529.16$ 0.53	kg t	0.53
				均しコンクリート	18-8-40BB $2.30 \times 2.30 \times 0.10$ $= 0.53$	m3	0.53
				均し型枠	$2.30 \times 4 \times 0.10$ $= 0.92$	m2	0.92
				基礎材	割栗石 (5~15cm) t=200 2.30×2.30 $= 5.29$	m2	5.29

単 位 数 量 計 算 書

細別	現場打集水柵		1.0基	細別	ポンプ排水		1式
規格	□1500×1500×H3700		当り	規格	常時排水 商用電源		当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
基面整正	$2.30 \times 2.30 = 5.29$	m2	5.29	ポンプ運転工	$N=60.00$	日	60.00
足掛金物	$\phi 19 \times 300 = 11.00$	個	11.00	据付・撤去工	$N=1.00$	現場	1.00
足場	枠組足場 $2.10 \times 4 \times 4 = 33.60$	掛m2	33.60				
ゲレーチング	1500×1500 T-25 普通目 2分割 受枠共 $= 1.00$	組	1.00				
床掘り	土砂 $(32.5+88.4)/2 \times 4.30 = 259.94$	m3	259.94				
埋戻し	流用土 $(27.1+84.0)/2 \times 4.30 = 238.87$	m3	238.87				
コンクリート構造物取壊し(1)	鉄筋構造物 $(1.05^2 \times \pi/4 - 0.90^2 \times \pi/4) \times 2.10 = 0.48$	m3	0.48				
コンクリート取壊し 運搬処理(1)	コンクリート構造物取壊し(1)参照 鉄筋コンクリート $= 0.48$	m3	0.48				

単 位 数 量 計 算 書

細別	現場打ガ-ト-レベル基礎		1式				
規格	21-8-40BB		当り				
名称	算式		単位	数量			
コンクリート	21-8-40BB						
	$V = (0.40 + 0.75) / 2 \times 0.70 \times 8.5$	$= 3.42$	m3	3.42			
同上型枠	$A = 0.78 \times 8.50$	$= 6.63$	m2	6.63			
円形型枠	$\phi 200$						
	$L = 0.40 \times 5$	$= 2.00$	m	2.00			
鉄筋 (SD295 D13)	(参考重量W=0.995kg/m)						
	$w = 0.2 + 0.424 + 0.25 + 0.424 + 0.2 = 1.50$						
	$1.50 \times 0.995 = 1.493$						
	$1.493 \times 2 \times 5 = 11.94$	$= 14.93$	t	0.01			
		0.01					

作業土工（L型水路）計算書

測点	距離	床掘り		埋戻し		埋戻しコンクリート		モルタル			
		断面積 (m ²)	立積 (m ³)	断面積 (m ²)	立積 (m ³)	幅 (m ²)	面積 (m ³)	断面積 (m ²)	立積 (m ³)		
自 : No. 0		2.1		1.5		2.7		0.43			
至 : No. 0+10.000	10.0	8.7	54.0	0.18	8.4	3.5	31.0	0.25	3.4		
自 : No. 0+10.000		8.7		0.18		3.5		0.25			
至 : No. 1	10.0	9.0	88.5	0.18	1.8	3.3	34.0	0.25	2.5		
自 : No. 1		9.0		0.18		3.3		0.25			
至 : No. 1+9.457	9.5	9.8	89.3	0.18	1.7	3.3	31.4	0.25	2.4		
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
合計	29.5		231.8		11.9		96.4		8.3		

工 事 用 盛 土 (L 型 水 路) 計 算 書

測点	距離	土留工用盛土		土留工用盛土撤去		工事用盛土		工事用盛土撤去			
		断面積 (m2)	立積 (m3)	断面積 (m2)	立積 (m3)	断面積 (m2)	立積 (m3)	断面積 (m2)	立積 (m3)		
自 : No. 0		1.4		1.4		0.00		0.00			
至 : No. 0+10.000	10.0	0.86	11.3	0.86	11.3	6.80	34.0	6.80	34.0		
自 : No. 0+10.000		0.86		0.86		6.80		6.80			
至 : No. 1	10.0	0.57	7.2	0.57	7.2	7.70	72.5	7.70	72.5		
自 : No. 1		0.57		0.57		7.70		7.70			
至 : No. 1+9.457	9.5	0.57	5.4	0.57	5.4	7.60	72.7	7.60	72.7		
自 : No. 1+9.457						0.00		0.00			
至 : No. 1+18.457	9.0					0.00		0.00			
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
合計	38.5		23.9		23.9		179.2		179.2		

付 帯 道 路 工 計 算 書

測点	距離	法面整形(盛土部)								
		幅 (m)	面積 (m2)							
自 : BC1 (NO. 0+10.00)	12.2	0.0								
至 : EC1 (NO. 1+2.17)		6.7	40.9							
自 : EC1 (NO. 1+2.17)	24.2	6.7								
至 : EC2 (NO. 2+6.37)		16.9	285.6							
自 : EC2 (NO. 2+6.37)	16.9	16.9								
至 : BC3 (NO. 3+3.32)		16.8	284.8							
自 : BC3 (NO. 3+3.32)	27.2	16.8								
至 : EC4 (NO. 4+10.47)		0.0	228.5							
自 :										
至 :										
自 :										
至 :										
自 :										
至 :										
自 :										
至 :										
自 :										
至 :										
合計	80.5		839.8							

付 帶 道 路 工 計 算 書

測点	距離	掘削		掘削(表土)		路床盛土		路体盛土			
		断面積 (m2)	立積 (m3)	断面積 (m2)	立積 (m3)	断面積 (m2)	立積 (m3)	断面積 (m2)	立積 (m3)		
自 : BC1 (NO. 0+10. 00)				0. 0		0. 0		0. 0			
至 : EC1 (NO. 1+2. 17)	12. 2			2. 0	12. 2	5. 1	31. 1	11. 1	67. 7		
自 : EC1 (NO. 1+2. 17)				2. 0		5. 1		11. 1			
至 : EC2 (NO. 2+6. 37)	24. 2			6. 1	98. 0	11. 2	197. 2	37. 5	588. 1		
自 : EC2 (NO. 2+6. 37)				6. 1		11. 2		37. 5			
至 : BC3 (NO. 3+3. 32)	16. 9			5. 6	98. 9	11. 2	189. 3	31. 0	578. 8		
自 : BC3 (NO. 3+3. 32)		0. 0		5. 6		11. 2		31. 0			
至 : EC4 (NO. 4+10. 47)	27. 2	1. 8	24. 5	0. 0	76. 2	0. 0	152. 3	0. 0	421. 6		
自 : EC4 (NO. 4+10. 47)		1. 8									
至 : NO. 5+7. 30	16. 8	0. 0	15. 1								
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
合計	97. 3		39. 6		285. 3		569. 9		1, 656. 2		

付 帶 道 路 工 面 積 計 算 書

路盤

表層(2)

測点	距離(m)	幅(m)	面積(m ²)	測点	距離(m)	幅(m)	面積(m ²)
自 : BC1 (NO. 0+10. 00)		0. 00		自 : BC1 (NO. 0+10. 00)		0. 00	
至 : EC1 (NO. 1+2. 17)	12. 2	7. 10	43. 3	至 : EC1 (NO. 1+2. 17)	12. 2	7. 00	42. 7
自 : EC1 (NO. 1+2. 17)		7. 10		自 : EC1 (NO. 1+2. 17)		7. 00	
至 : EC2 (NO. 2+6. 37)	24. 2	7. 10	171. 8	至 : EC2 (NO. 2+6. 37)	24. 2	7. 00	169. 4
自 : EC2 (NO. 2+6. 37)		7. 10		自 : EC2 (NO. 2+6. 37)		7. 00	
至 : BC3 (NO. 3+3. 32)	16. 9	7. 10	120. 0	至 : BC3 (NO. 3+3. 32)	16. 9	7. 00	118. 3
自 : BC3 (NO. 3+3. 32)		7. 10		自 : BC3 (NO. 3+3. 32)		7. 00	
至 : EC4 (NO. 4+10. 47)	27. 2	7. 10	193. 1	至 : EC4 (NO. 4+10. 47)	27. 2	7. 00	190. 4
自 : EC4 (NO. 4+10. 47)		7. 10		自 : EC4 (NO. 4+10. 47)		7. 00	
至 : NO. 5+7. 30	16. 8	0. 00	59. 6	至 : NO. 5+7. 30	16. 8	0. 00	58. 8
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
自 :				自 :			
至 :				至 :			
合計	97. 3		587. 8	合計	97. 3		579. 6

H鋼杭鋼材数量表

種 別	形 状 及 び			長 さ	本 数	重 量
	単 位 重 量					
【L型水路部】						
H鋼杭(L型水路部)左岸	H-300	0.093	t/m	7.000	19	12.369
H鋼杭(L型水路部)右岸	H-300	0.093	t/m	7.000	18	11.718
小計						24.087
【プレキャストカルバート部】						
H鋼杭(プレキャストカルバート部)左岸	H-300	0.093	t/m	8.500	9	7.115
H鋼杭(プレキャストカルバート部)右岸	H-300	0.093	t/m	8.500	8	6.324
小計						13.439

切梁・腹起し 数量表

種 別	形 状 及 び 単 位 重 量			1段(リース)			2段(リース)			3段(リース)			計
				長 さ	本 数	重 量	長 さ	本 数	重 量	長 さ	本 数	重 量	
切梁材	H-300	0.100	t/m	4.050	10	4.050							4.050
腹起材(左岸)	H-300	0.100	t/m	25.800	1	2.580							2.580
腹起材(右岸)	H-300	0.100	t/m	25.000	1	2.500							2.500
主部材(計)						9.130							9.130
副部材(A) (主部材*22%)						2.009							2.009
副部材(B) (主部材*4%)						0.365							0.365
合計						11.504							11.504

名 称	市場価格	係数	採用単価
H形鋼 山留主部材(整備費)		1.09	
副部材A(賃料)		1.48	
副部材A(修理費及び損耗費)		1.13	
副部材B(修理費及び損耗費)		1.01	

H鋼杭・支保材損料等計算表【L型水路】

賃料	数量	供用日 a (日)	設置質量 (t)	撤去質量 A 賃料 (t)	撤去質量 スクラップ ² (t)	埋設 (全損) (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a×A×m (円)	転用回数 N=(n+1)/2 (回)	修理費及び損耗費 C (円/t/回)	修理費及び損耗費 N×A×C (円)	計 F (円)
切梁・腹起し	H-300	45	9.130	9.130					1			
	副部材(A)	45	2.009	2.009					1			
	副部材(B)		0.365		0.365				1			
小計			11.504	11.139	0.365							有効数字3桁
賃料	使用区分		設置質量 (t)	撤去質量 A 賃料 (t)	撤去質量 スクラップ ² (t)	埋設 (全損) (t)	日当り損料額 m (円/t/日)	損料額 a×A×m (円)	N	全損額 C (円/t)	全損額 N×A×C (円)	計 F (円)
H鋼杭(左岸) H-300 L=7.0m	H-300(左岸) 19本		12.369									
H鋼杭(左岸) H-300 L=7.0m	H-300(左岸) 19本				3.181							
H鋼杭(左岸) H-300 L=7.0m	H-300(左岸) 19本					9.188						
小計			12.369		3.181	9.188						有効数字3桁
全損	使用区分		設置質量 (t)	撤去質量 A (t)	撤去質量 スクラップ ² (t)	埋設 (全損) (t)			N	全損額 C (円/t)	全損額 N×A×C (円)	計 F (円)
H鋼杭(右岸) L=7.0m	18本		11.718									
H鋼杭(右岸) L=7.0m	H-300(右岸) 18本					11.718						
小計			11.718			11.718						有効数字3桁
合計			35.591	11.139	3.546	20.906						

H鋼杭・支保材損料等計算表【プレキャストカルハート】

全損	使用区分		設置質量 (t)	撤去質量 A (t)	撤去質量 スクラップ ^o (t)	埋設 (全損) (t)			N	全損額 C (円/t)	全損額 N×A×C (円)	計 F (円)
H鋼杭(左岸&右岸) H-300 L=8.5m	17本		13.439									
H鋼杭(左岸&右岸) H-300 L=8.5m	17本				2.372							
H鋼杭(左岸&右岸) H-300 L=8.5m	17本					11.067						
合計			13.439		2.372	11.067						有効数字3桁

令和3年度下工公補第25号

野田調整池築造工事

数量総括表

(市単独工事)

バル1 : 築堤・護岸

工 事 数 量 総 括 表

レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
築堤・護岸					式	1	
	法覆護岸工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り	土砂	m3	170	
			埋戻し(2)	流用土	m3	90	
			土砂等運搬	土砂	m3	60	
		護岸工			式	1	
			現場打基礎	18-5-40BB	m	15	
			張コンクリート	18-3-40BB	式	1	
		雑工			式	1	
			防草コンクリート	18-8-25BB	式	1	
			ガードレール(1)	Gr-C-4E	m	30	
			さく井		式	1	

数 量 計 算 書

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
法覆護岸工	作業土工	床掘り	河川作業土工計算書参照 土砂	V = 167.0	m3	167.0
		埋戻し(2)	河川作業土工計算書参照 流用土	V = 94.0	m3	94.0
		土砂等運搬	床掘り及び埋戻し参照 RC-40 167.00 - 94.00 / 0.9	V = 62.6	m3	62.6
	護岸工	現場打基礎	18-5-40BB 単位数計算書参照 6.14 + 9.02	L = 15.16	m	15.2
		張コンクリート	18-3-40BB 単位数計算書参照	N = 1.00	式	1.0
		水路工	雑工	防草コンクリート	18-8-25BB 単位数計算書参照	N = 1.00
ガードレール(1)	Gr-C-4E			L = 30.20	m	30.2
さく井			N = 1.00	式	1.0	

単 位 数 量 計 算 書

細別	現場打基礎		10.0m	細別	張コンクリート		1式
規格	18-5-40BB		当り	規格	18-3-40BB		当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
コンクリート	18-5-40BB $((0.33+0.50)/2 \times 0.25 + 0.50 \times 0.25) \times 10.00$ V= = 2.29	m3	2.29	コンクリート	18-3-40BB t=200 V1= $((0.78+6.14)+6.14)/2 \times 5.43 \times 0.20 = 7.09$ V2= $0.35 \times 5.43 \times 0.20 = 0.38$ V3= $(6.33+2.91)/2 \times 5.43 \times 0.20 = 5.02$ V4= $5.76 \times 5.43 \times 0.20 = 6.26$ V5= $6.11/2 \times 5.43 \times 0.20 = 3.32$ <hr/> ΣV= 22.07	m3	22.07
同上型枠	A= $(0.50+0.25+0.30) \times 10.00 = 10.50$	m2	10.50				
均しコンクリート	18-3-25BB t=10cm A= $0.70 \times 10.00 \times 0.1 = 0.70$	m3	0.70	均しコンクリート	18-3-25BB t=100 V1= $((0.78+6.14)+6.14)/2 \times 5.43 \times 0.10 = 3.55$ V2= $0.35 \times 5.43 \times 0.10 = 0.19$ V3= $(6.33+2.91)/2 \times 5.43 \times 0.10 = 2.51$ V4= $5.76 \times 5.43 \times 0.10 = 3.13$ V5= $6.11/2 \times 5.43 \times 0.10 = 1.66$ <hr/> ΣV= 11.04	m3	11.04
均し型枠	A= $(0.10+0.10) \times 10.00 = 2.00$	m2	2.00				
基面整正	A= $0.70 \times 10.00 = 7.00$	m2	7.00	目地材	樹脂発泡体 t=10 $5.43 \times 0.20 = 1.09$	m2	1.09

単 位 数 量 計 算 書

細別	張コンクリート	1式	細別	防草コンクリート	1式					
規格	18-3-40BB	当り	規格	18-8-25BB	当り					
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量			
遮水シート	河川護岸用遮水シート	m2	110.32	コンクリート	18-8-25BB t=100	m2	88.80			
	A1= $((0.78+6.14)+6.14)/2 \times 5.43$				= 35.46			雑工計算書参照	A=88.80	= 88.80
	A2= 0.35×5.43				= 1.90					
	A3= $(6.33+2.91)/2 \times 5.43$				= 25.09					
	A4= 5.76×5.43				= 31.28					
	A5= $6.11/2 \times 5.43$				= 16.59					
$\Sigma A=$	110.32	目地材	A= $(29.50+2.30+3.53) \times 0.1$	= 3.53	m2	3.53				
		(瀝青質材 t=10)								

単 位 数 量 計 算 書

細別	さく井		1式	細別	さく井工		1式
規格			当り	規格	掘さく孔径φ550mm φ400ASGP		当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
さく井工	掘さく孔径φ550mm φ400ASGP	式	1.00	掘さく費	掘さく孔径φ550mm	式	1.00
ポンプ工	φ80mm×3.7kw	式	1.00	孔内検層費	電気検層(比抵抗法)	式	1.00
発電機設置工	(650×1420×1030) DCA-13LSYE同等品以上	式	1.00	ケーシング費	φ400A SGP	式	1.00
				砂利充填 ・遮水費	φ400A	式	1.00
				仕上げ費		式	1.00
				残泥土処理費	泥土	式	1.00
				揚水試験費		式	1.00
				機械損料費		式	1.00
				仮設費		式	1.00

単 位 数 量 計 算 書

細別	掘さく費	1式	細別	掘さく費	1式		
規格	掘さく孔径φ550mm	当り	規格	掘さく孔径φ550mm	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
掘さく工	掘さく孔径φ550mm 深度20m パーカッションC 掘さく日数 5 日	箇所	1.00	動力燃料費	軽油 V= 81.3 × 5 = 406.50	ℓ	406.50
消耗材料費	粘土 V= 0.178 × 20 = 3.56 m3 ベントナイト W= 11.85 × 20 = 237.00 kg その他調泥剤 逸泥防止剤・CMC・加重剤等 1.00 式 普通溶接棒 W= 0.25 × 5 = 1.25 kg 特殊溶接棒 W= 0.20 × 5 = 1.00 kg 酸素ガス V= 1.33 × 5 = 6.65 m3 アセチレンガス W= 0.76 × 5 = 3.80 kg 雑品 マシン油・ 그리스・ウエス等 = 1.00 式	式	1.00	粘性土 L= 1.65 + 4.85 = 6.50 m 砂質土 L= 0.55 + 7.30 = 7.85 m 砂礫 L= 3.50 + 2.15 = 5.65 m 掘さく日数 地層 層厚 掘さく率 掘さく日数 粘性土 6.50 / 6.8 = 0.96 砂質土 7.85 / 5.1 = 1.54 砂礫 5.65 / 2.6 = 2.17 Σ = 4.67 掘さく日数(小数点以下四捨五入) ≒ 5			
ワイヤロープ 損料	ドリングライン 24mm L= (50m+20m) × 50% = 35.00 m サントライン 14mm L= (50m+20m) × 50% = 35.00 m コンタクタワイプ 損料 φ711.2mm × 6.4mm L= 2.000 × 30% = 0.60 m	式	1.00				

単 位 数 量 計 算 書

細別	孔内検層費		1式	細別	ケーシング費		1式		
規格	電気検層(比抵抗法)		当り	規格	φ400SGP		当り		
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
スポット式検層	パーカッションC	= 1.00	箇所	1.00	ケーシング挿入工	φ400SGP		箇所	1.00
消耗品費		= 1.00	式	1.00	ケーシング材料	ケーシングパイプ 400A SGP 黒 L= 3.5m+5.5m+5.0m = 14.00 m スクリーン 400A 巻線スクリーン 亜鉛メッキ L= 2.0m+4.0m = 6.00 m 井戸底蓋 400A ホトム加工 N= 1.00 個		式	1.00
					消耗材料費	普通溶接棒 W= 0.20 × 20 = 4.00 kg その他雑品 準備所要日数 1 日 挿入所要日数 1 日 所要日数 Σ = 2 日 1.00 式		式	1.00
					動力燃料費	軽油 V= 81.3 × 2 = 162.60 ℓ		ℓ	162.60

単 位 数 量 計 算 書

細別	砂利充填・遮水費			1式	細別	仕上げ費			1式
規格	φ400A			当り	規格				当り
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
砂利充填工	L=18.0m		箇所	1.00	仕上げ工	= 1.00		箇所	1.00
充填材料費	充填砂利 $V = 0.128 \times 18 = 2.30 \text{ m}^3$		式	1.00	消耗品費	= 1.00		式	1.00
	消耗品 1.00 式				動力燃料費	軽油 $V = 81.3 \times 5 = 406.50$		ℓ	406.50
動力燃料費	軽油 所要時間 2 【資料-①】参照 $V = 81.3/8 \times 2 = 20.33$		ℓ	20.33					
遮水工	L=2.0m 埋戻材料（流用土） $V = 0.128 \times 2 = 0.26 \text{ m}^3$		箇所	1.00					
動力燃料費	軽油 所要時間 1 【資料-①】参照 $V = 81.3/8 \times 1 = 10.16$		ℓ	10.16					

単 位 数 量 計 算 書

細別	残泥土処理費		1式	細別	揚水試験費		1式
規格	泥土		当り	規格			当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
処分費	<p>【資料-②】参照</p> <p>粘性土</p> $L = 1.65 + 4.85 = 6.50 \text{ m}$ <p>砂質土</p> $L = 0.55 + 7.30 = 7.85 \text{ m}$ <p>砂礫</p> $L = 3.50 + 2.15 = 5.65 \text{ m}$ <p>掘さくによる残泥土処理量</p> $VD = 0.237 \times 6.50 \times 3.7 = 5.70 \text{ m}^3$ $VD = 0.237 \times 7.85 \times 3.4 = 6.33 \text{ m}^3$ $VD = 0.237 \times 5.65 \times 3.0 = 4.02 \text{ m}^3$ $\Sigma = 16.05 \text{ m}^3$ <p>ケーシング～遮水泥水処理量</p> $VC = 0.237 \times 20.00 \times 1.2 = 5.69 \text{ m}^3$ <p>仕上げ時の泥水処理量</p> $VP = 0.237 \times 20.00 \times 1.5 = 7.11 \text{ m}^3$ <p>遮水工 埋戻材料（流用土）控除</p> $= -0.26 \text{ m}^3$ $\Sigma = 28.59 \text{ m}^3$			揚水試験	= 1.00	箇所	1.00
				消耗品費	= 1.00	式	1.00
				動力燃料費	<p>軽油</p> $V = 81.3 \times 5 = 406.50$	ℓ	406.50
収集運搬	<p>パキム車 中型 (4.2m³)</p> $28.59 / 4.2 = 6.81$ <p>N=</p> $\doteq 7.00$	m ³	28.59				
		車	7.00				

単 位 数 量 計 算 書

細別	仮設費			1式	細別				1式		
規格	ハ°-カッションC			当り	規格				当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
機械組立解体工	定置型	=	1.00	箇所	1.00	/					
消耗品費		=	1.00	式	1.00						

単 位 数 量 計 算 書

細別	ポンプ工		1式	細別	ポンプ材料費		1式
規格	φ80mm×3.7kw		当り	規格			当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
ポンプ材料費		式	1.00	工事排水用 水中ポンプ	φ80mm×3.7kw ケーブル20m付 N= = 1.00	台	1.00
ポンプピット		式	1.00	井戸蓋	φ80用 FC製 脱気弁・連成計付 N= = 1.00	基	1.00
ポンプ据付		式	1.00	チャッキ・スルス弁	φ80×10K N= = 1.00	組	1.00
送水管		式	1.00	揚水管	φ80SGP垂鉛メッキ L=4.0m/本 N= = 4	本	4.00
電気工		式	1.00	水中電極	コト 20m付 N= = 2	本	2.00
				制御盤	屋外壁掛型 ELB付 N= = 1.00	基	1.00
				盤取付金具類	N= = 1.00	式	1.00
				消耗材料費	N= = 1.00	式	1.00

単 位 数 量 計 算 書

細別	ポンプヒット		1式	細別	ポンプヒット		1式		
規格			当り	規格			当り		
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
床掘り	土砂 V= 2.40 × 2.00 × 0.25 = 1.20 m ³		m ³	1.20	同上型枠	A= 1.20 × 1.00 × 2.00 = 2.40			
基礎砕石	RC-40 V= 1.70 × 1.30 = 2.21 m ³		m ³	2.21		A= 1.60 × 1.00 × 2.00 = 3.20			
埋戻し	流用土 V= 2.40 × 2.00 × 0.25 = 1.20 - 1.60 × 1.20 × 0.15 = -0.29 - 1.70 × 1.30 × 0.10 = -0.22 Σ = 0.69 m ³		m ³	0.69		A= 0.90 × 0.85 × 1.00 = 0.77 A= 0.90 × 0.80 × 1.00 = 0.72 A= 0.90 × 0.05 × 1.00 = 0.05 A= 0.75 × 0.80 × 2.00 = 1.20 A= 0.55 × 0.85 × 2.00 = 0.94 Σ = 9.28 m ²		m ²	9.28
土砂等運搬	土砂 V= 1.20 - 0.69 / 0.9 = 0.43 m ³		m ³	0.43	円形型枠	φ 600 L= 0.20 m = 0.20		m	0.20
コンクリート	18-8-25(BB) V= 1.60 × 1.20 × 1.00 = 1.92 - 1.30 × 0.90 × 0.80 = -0.94 - 0.55 × 0.90 × 0.05 = -0.02 - 0.60 × π/4 × 0.20 = -0.09 Σ = 0.87 m ³		m ³	0.87	蓋	N= = 1.00		枚	1.00

単 位 数 量 計 算 書

細別	蓋			1枚	細別	ポンプ据付			1式
規格				当り	規格				当り
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
縞鋼板	t4.5×1219×2439 参考重量t=110.0kg/枚 W=		kg	110.00	ポンプ据付工	N=		式	1.00
等辺山形鋼	t3.0×40×40 参考重量t=1.83kg/m L=5.8m W=		kg	10.61	重機費	ユニック車 N=		日	1.00
雑材	平板、取手部分 N=		式	1.00					
加工	N=		式	1.00					
塗装(1)	HDZ55 錆止め 両面 A= 1.60×1.20×2		m2	3.84					
塗装(2)	HDZ55上塗 A= 1.60×1.20×2		m2	3.84					

単 位 数 量 計 算 書

細別	送水管			1式	細別	発電機設置工			1式
規格	VP φ 75			当り	規格				当り
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
送水管工	N=		式	1.00	発電機据付工	N=		式	1.00
暗渠排水管	設置 VP φ 75mm N= 10.00 / 4.00		本	2.50	床掘り	土砂 V= 2.60 × 3.45 × 0.20		m3	1.79
ILP*	φ 75 N=		個	4.00	基礎碎石	RC-40 A= 2.20 × 3.05		m2	6.71
					埋戻し	流用土 V= 2.60 × 3.45 × 0.20 = 1.79 - 2.20 × 3.05 × 0.10 = -0.67 - 2.00 × 2.85 × 0.10 = -0.57 Σ = 0.55 m3		m3	0.55
					コンクリート	24-12-25 (BB) V= 1.79 × 2.85 × 0.20		m3	1.02
					同上型枠	A= (1.79 × 2 + 2.85 × 2) × 0.20 = 1.86		m2	1.86
					溶接金網	φ 6 × 150目 1m × 2m 3枚 A= 1.00 × 2.00 × 3		m2	6.00
					発動発電機	DCA-13LSYE同等品以上 N=		基	1.00
					発電機小屋	FXN-1726S同等品以上 N=		基	1.00

河川作業土工計算書

測点	距離	床掘り(土砂)		埋戻し(流用土)							
		断面積(m2)	立積(m3)	断面積(m2)	立積(m3)						
自 : BC2 (NO. 1+11. 60)	14. 8	4. 6		2. 8							
至 : EC2 (NO. 2+6. 37)		4. 6	68. 1	2. 8	41. 4						
自 : EC2 (NO. 2+6. 37)	16. 9	4. 6		2. 8							
至 : BC3 (NO. 3+3. 32)		5. 8	87. 9	2. 8	47. 3						
自 : BC3 (NO. 3+3. 32)	1. 9	5. 8		2. 8							
至 : BC3 (NO. 3+5. 20)		5. 8	11. 0	2. 8	5. 3						
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
自 :											
至 :											
合計	33. 6		167. 0		94. 0						

雑工計算書

測点	距離	防草コンクリート								
		幅 (m)	面積 (m2)							
自 : No. 0		3.05								
至 : No. 0+10.000	10.0	2.30	26.8							
自 : No. 0+10.000		2.30								
至 : No. 1	10.0	3.53	29.2							
自 : No. 1		3.53								
至 : No. 1+9.457	9.5	3.37	32.8							
自 :										
至 :										
自 :										
至 :										
自 :										
至 :										
自 :										
至 :										
自 :										
至 :										
合計	29.5		88.8							

機械損料

内 容	仕 様	必 要 台 数	運 転 日 数	供 用 日 数	1 日 当 り 運 転 時 間	損 料 額 単 価			機 械 器 具 損 料				
						時 間 当 り	運 転 日 当 り	供 用 日 当 り	時 間 当 り	運 転 日 当 り	供 用 日 当 り	1 現 場 当 り 修 理 費	小 計
記 号		a	b	c	d	f	g	h	i	j	k	l	m
算出方法			別計算	別計算					$a \times b \times d$ $\times f$	$a \times b \times g$	$a \times c \times h$		$i + j + k$ $+ l$
機械名・規格		台	日	日	時間	円	円	円	円	円	円	円	円
さ く 井 機	ハ°カッションC片槽型	1	15.0	27.0	—	—			—			—	
ミ キ サ ー	500ℓ単槽	1	5.0	27.0	—	—			—			—	
掘 削 ヒ ° ッ ト	400mm用	1	—	5.0	—	—			—			—	
掘 削 ハ ° ー ラ	400mm用	1	—	8.0	—	—			—			—	
掘 削 用 工 具 類	—	1	—	27.0	—	—			—			—	
電 気 溶 接 機	300A	1	15.0	27.0	—	—			—			—	
工 事 用 サ ン ト ° ホ ° ソ フ °	5.5kw	1	13.0	27.0	—	—			—			—	
発 電 機	60kva 防音型リス	1	18.0	27.0	—	—			—			—	
検 層 装 置	—	1	—	1.0	—	—			—			—	
ケーシング°挿入用器具	—	1	—	2.0	—	—			—			—	
仕 上 げ ハ ° ー ラ	400mm用	1	—	5.0	—	—			—			—	
揚 水 試 験 用 ホ ° ソ フ °	φ100×5.5kw	1	3.0	5.0	—	—			—			—	
分 電 盤	225A	1	—	27.0	—	—			—			—	
カ ° ス 切 断 器 具	—	1	—	27.0	—	—			—			—	
泥 水 タ ン ク	5m3	1	—	27.0	—	—			—			—	
合 計													(千円未満切捨)

【資料-①】 充填砂利・残土埋戻 所要時間算出

- ・工法:パーカッションC
- ・掘削口径:φ550mm
- ・クーリング径:φ400mm
- ・掘削深度:GL-20.0m
- ・砂利充填区間:GL-2~20m
- ・残土埋戻区間:GL-0~2m

砂利充填所要時間 $T_1=V_1/Q_1$

V_1 :充填量(m^3) 1m当り0.128 m^3 /m

L_1 :砂利充填長(m)とすると $V_1=0.065L_1$

Q_1 :1時間当りの充填量(m^3) 1.5 m^3 /時とする

掘削残土埋戻所要時間 $T_2=V_2/Q_2$

V_2 :充填量(m^3) 1m当り0.128 m^3 /m

L_2 :砂利充填長(m)とすると $V_2=0.065L_2$

Q_2 :1時間当りの充填量(m^3) 2.5 m^3 /時とする

所要時間算出表

充填砂利	L_1 (m)	18
	V_1 (m^3)	$0.128 \times 18=2.3$
	Q_1 (m^3 /時)	1.5
	T_1 (時)	$2.3/1.5=1.53 \approx 2$
残土埋戻	L_2 (m)	2
	V_2 (m^3)	$0.128 \times 2=0.26$
	Q_2 (m^3 /時)	2.5
	T_2 (時)	$0.26/2.5=0.10 \approx 1$

【資料-②】 残泥土処理量の算出

- ・工法:パーカッションC
- ・掘削口径:φ550mm
- ・掘削深度:GL-20.0m

$$\text{残泥土処理量 } V = V^D + V^C + V^P - V_2$$

$$\text{掘削による残泥土処理量 } V^P = A_1 \times D_p \times K$$

$$\text{ケーシング～遮水泥水処理量 } V^C = A_1 \times (L_1 + L_2) \times 1.2$$

$$\text{仕上げ時の泥水処理量 } V^D = A_1 \times D_p \times 1.5$$

$$A_1: \text{掘削孔断面積(m}^2\text{)} \quad 0.237\text{m}^2$$

$$D_p: \text{掘削深度 } 20\text{m}$$

$$L_1: \text{砂利充填の区間長(m)} \quad 18\text{m}$$

$$L_2: \text{埋戻の区間長(m)} \quad 2\text{m}$$

$$K: \text{地層による体積割増し係数}$$

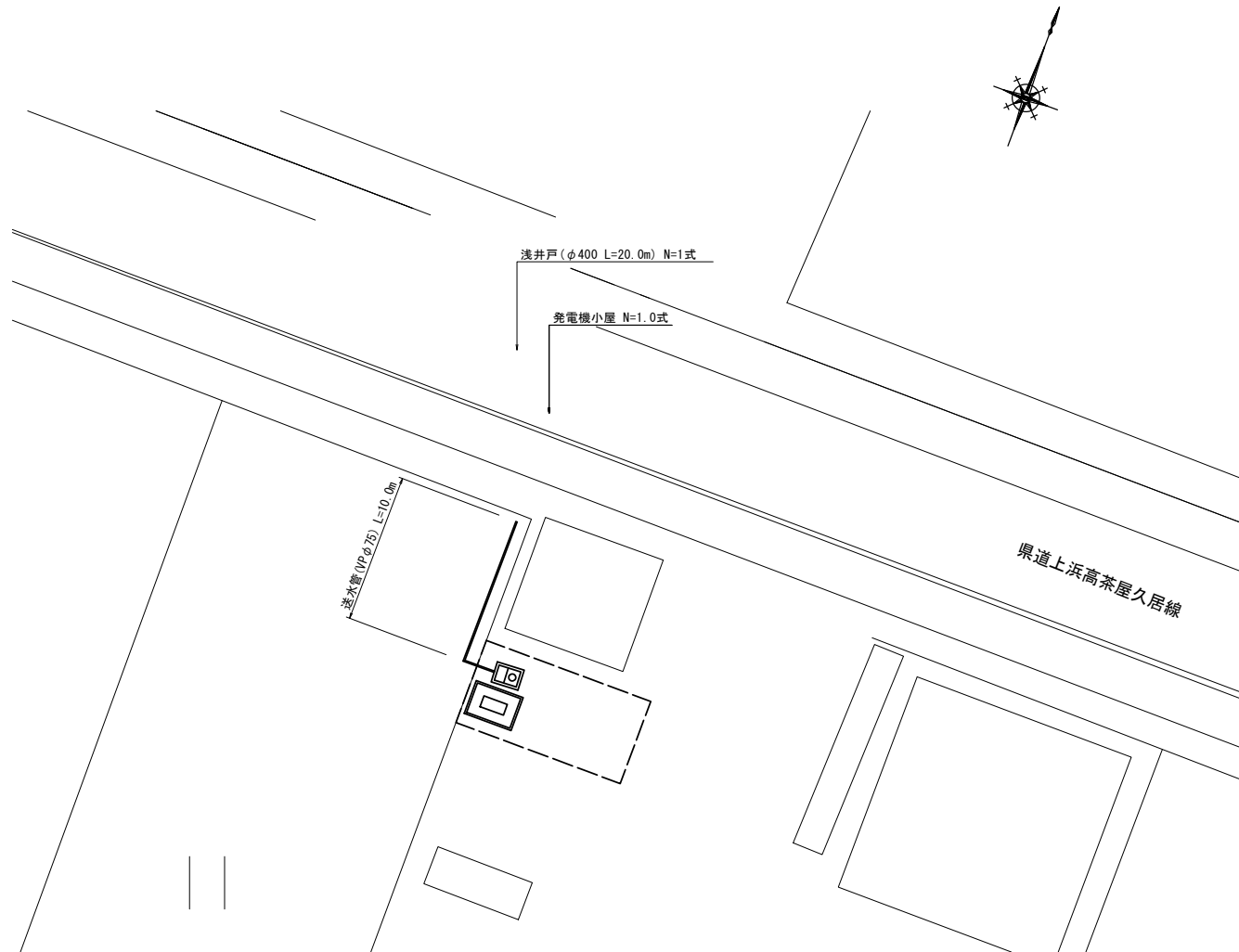
$$\text{粘土系:}3.7、\text{砂系:}3.4、\text{礫系:}3.0$$

残泥土処理量算出表

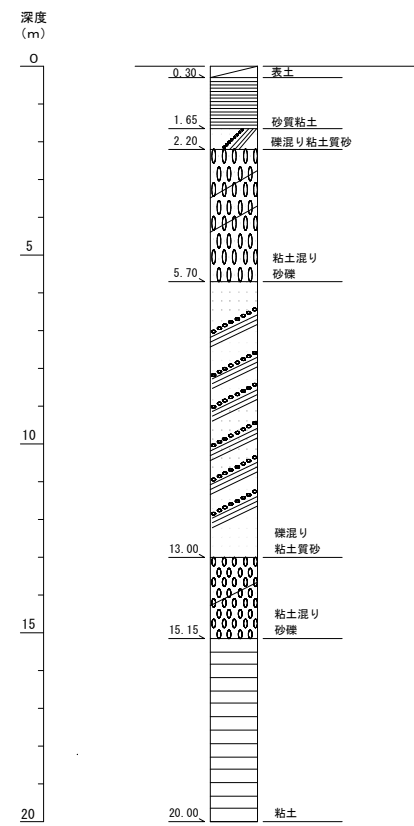
	$A_1(\text{m}^2)$	0.237
地層厚 (m)	粘性土	6.50
	砂質土	7.85
	砂礫	5.65
	計	20.00
	$L_1(\text{m})$	18
	$L_2(\text{m})$	2
$V^D(\text{m}^3)$	粘性土	$0.237 \times 6.50 \times 3.7 = 5.70$
	砂質土	$0.237 \times 7.85 \times 3.4 = 6.33$
	砂礫	$0.237 \times 5.65 \times 3.0 = 4.02$
	計	16.05
	$V^C(\text{m}^3)$	$0.237 \times (18+2) \times 1.2 = 5.69$
	$V^P(\text{m}^3)$	$0.237 \times 20 \times 1.5 = 7.11$
	$V_2(\text{m}^3)$	0.26(資料-①)
	$V(\text{m}^3)$	$16.05 + 5.69 + 7.11 - 0.26 = 28.59$

井戸詳細図(1)

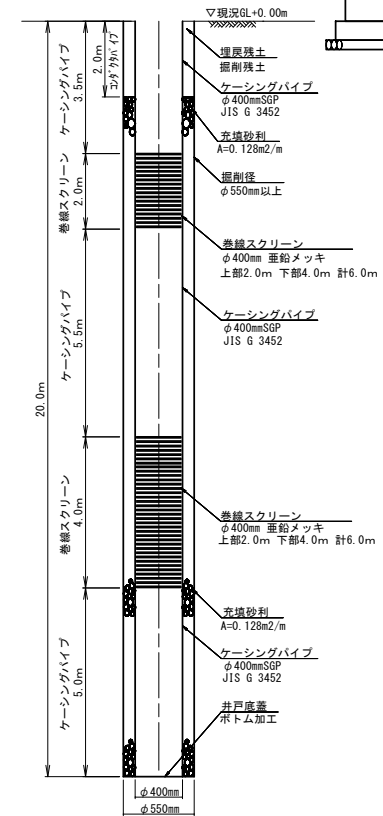
平面図
S=1/200



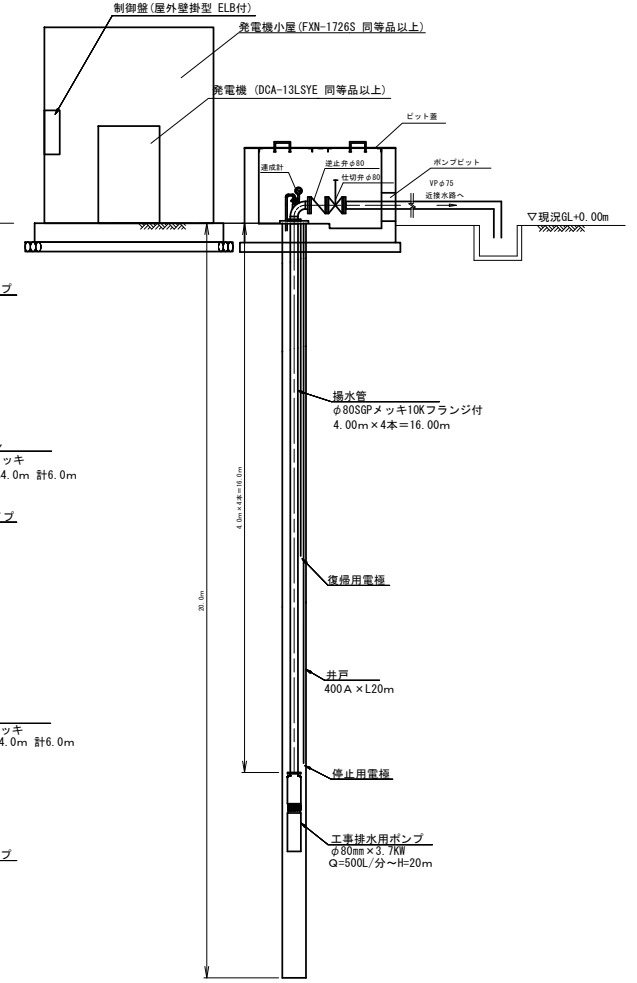
柱状図
S=1/50



井戸施工図
S=1/50



ポンプ据付図
S=1/50



掘さく費 1式当り

名称	規格	単位	数量	備考
粘土		m ³	3.56	
ベントナイト		kg	237.00	
その他調泥剤	粘原抽出剤・CMC・加重剤等	式	1.00	
普通溶接棒		kg	1.25	
特殊溶接棒		kg	1.00	
酸素ガス		m ³	6.65	
7セフレガス		kg	3.80	
雑品	ワシ油・クワシ・クワシ等	式	1.00	
ドリリングライン	24mm	m	35.00	
ガイドライン	14mm	m	35.00	
コンクリートパイプ損料	φ711.2mm×6.4mm	m	0.60	
軽油		ℓ	406.50	

ケーシング費 1式当り

名称	規格	単位	数量	備考
ケーシングパイプ	400A SGP 黒	m	14.00	
スクリーン	400A巻線スクリーン垂鉛メッキ	m	6.00	
井戸底蓋	400A ボトム加工	個	1.00	
普通溶接棒		kg	4.00	

砂利充填・遮水費 1式当り

名称	規格	単位	数量	備考
充填砂利	洗砂利	m ³	2.30	
動力燃料費	軽油	ℓ	20.33	
埋戻材料費	流用土	m ³	0.26	
動力燃料費	軽油	ℓ	10.16	

ポンプ材料費 1式当り

名称	規格	単位	数量	備考
工事排水用水中ポンプ	φ80mm×3.7kW ケーブ #20m付	台	1.00	
井戸蓋	φ80用FC樹脂製気弁・連成針付	基	1.00	
チャッキ・スルース弁	φ80×10K	組	1.00	
挿水管	φ80SGP垂鉛メッキ L=4.0m/本	本	4.00	
水中電極	コード 20m付	本	2.00	
制御盤	屋外壁掛型 ELB付	基	1.00	
盤取付金具類		式	1.00	
消耗材料費		式	1.00	

送水管 1式当り

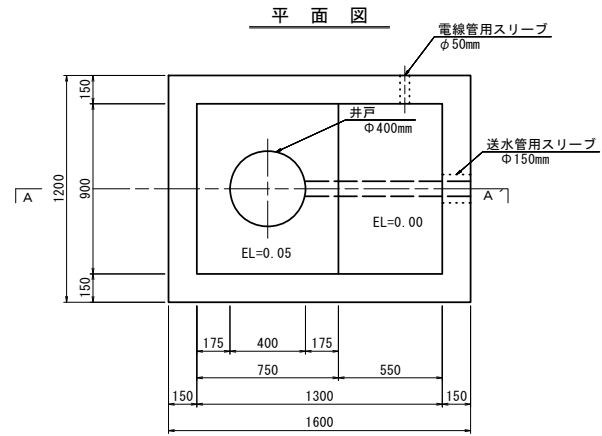
名称	規格	単位	数量	備考
塩ビ管	φ75 VP	本	2.50	
エルボ	φ75	個	4.00	

※A1サイズを原寸とする。

井戸詳細図(2)

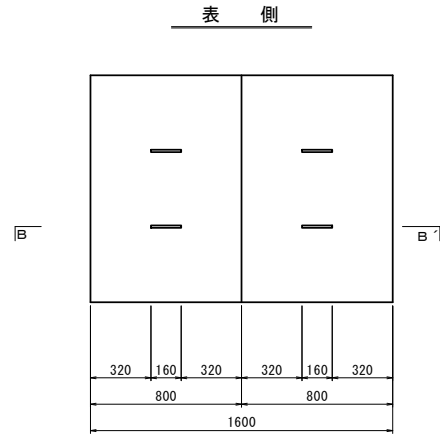
ポンプピット図

S=1/20



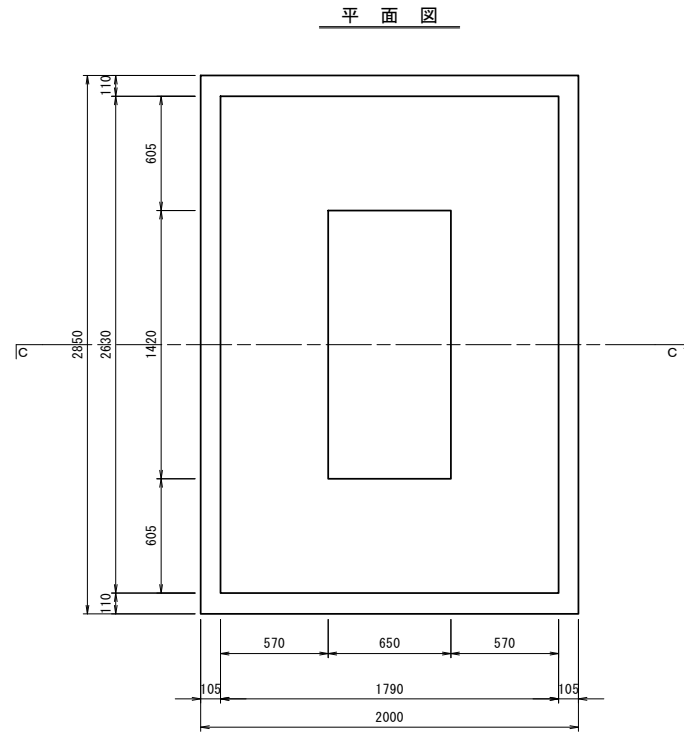
ピット蓋加工図

S=1/20



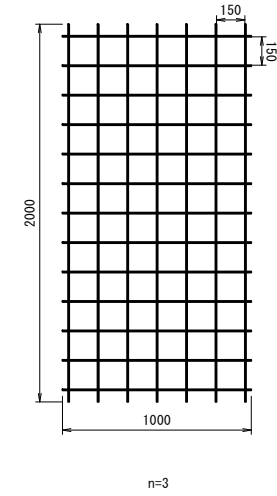
発電機設置小屋詳細図

S=1/30



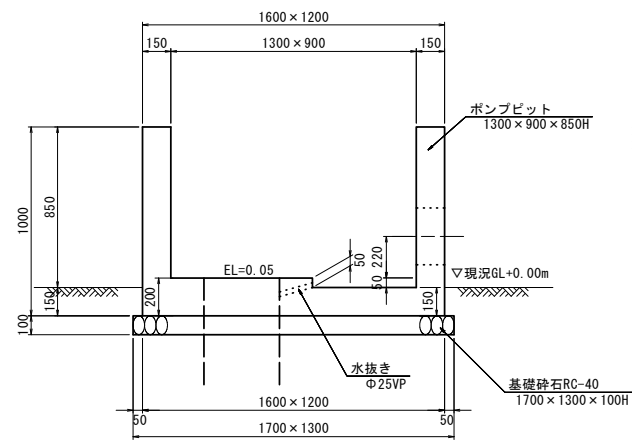
溶接金網

S=1/30



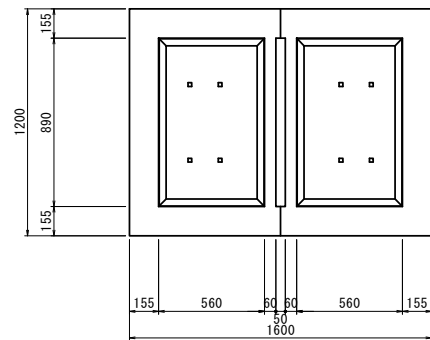
A - A'

S=1/20



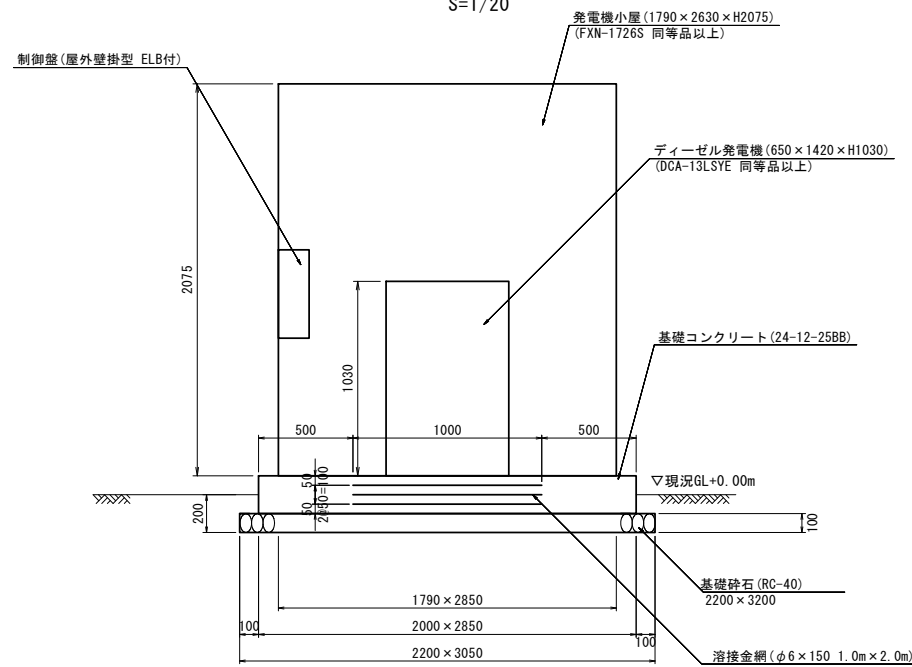
裏側

S=1/20



C - C'

S=1/20



ポンプピット数量表

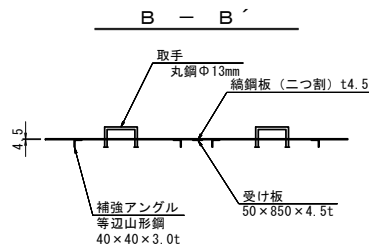
1式当り

名称	規格	単位	数量	備考
床掘	土砂	m ³	1.2	
基礎砕石	RC-40	m ²	2.21	
埋戻し	流用土	m ³	0.7	
コンクリート	18-8-258B	m ³	0.87	
同上型枠		m ²	9.28	
円形型枠	φ600	m	0.20	
蓋		枚	1.00	

蓋数量表

1式当り

名称	規格	単位	数量	備考
鉄鋼板	t=4.5mm	kg	110.00	※標準値 1:110kg/枚
等辺山形鋼	t3.0×40×40	kg	10.61	※標準値 1:11.83kg/枚
雑材	平板、取手部分	式	1.00	
加工		式	1.00	
塗装(1)	錆止め	m ²	3.84	HDZ55
塗装(2)	上塗り	m ²	3.84	HDZ55



発電機設置工数量表

1式当り

名称	規格	単位	数量	備考
床掘り	土砂	m ³	1.8	
基礎砕石	RC-40	m ²	6.71	
埋戻し	流用土	m ³	0.6	
コンクリート	24-12-258B	m ³	1.02	
同上型枠		m ²	1.86	
溶接金網	φ6×150 1.0m×2.0m	m ²	6.00	
発電機	650×1420×H1030	基	1.00	DCA-13LSYE同等品以上
発電機小屋	1790×2630×H2075	基	1.00	FKN-1726S同等品以上

※A1サイズを原寸とする。

特記仕様書（共通編）

No.1

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
共通	共通	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の施工にあたっては、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に準じて行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、図面及び別紙特記仕様書（施工条件明示一覧表）並びに特記事項は、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に優先する。 <input checked="" type="checkbox"/> 本工事はすべて設計図書（図面、仕様書並びに現場説明書及び現場説明に対する質問解答書を含む）によるほか、津市契約規則及び津市建設工事執行規則により執行する。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書において疑義が生じた場合は監督員の指示による。
	施工計画	<input checked="" type="checkbox"/> 品質及び出来形の基準値・規格値について、三重県公共工事共通仕様書で定めのない工種は、監督員との協議による。 <input checked="" type="checkbox"/> 選任を必要とする作業においては、作業主任者等を配置し、必要な資格者一覧を作成するとともに免許の写しを提出するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中の安全確保のため、労働安全に結びつく労働者が保有する資格者（クレーン運転士、玉掛業者など）の一覧を作成しその資格証の写しを提出するものとする。
	施工体制台帳	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。
	工事測量	<input checked="" type="checkbox"/> 施工前に、基準点、KBM、縦横断面及び工事区間内における境界の確認測量を行い、その結果、設計図書と差異が生じている場合には監督員に報告するものとする。 <input type="checkbox"/> 工事区間内の境界は、受注者の責任において原形復旧できる資料を作成、保存し、調査資料は監督員へ1部提出するものとする。
	施工	<input checked="" type="checkbox"/> 契約書、設計書及び仕様書に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担で処理するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中（養生中を含む）の隣接家屋の乗り入れについては、所有者と十分に協議の上、必要に応じ、鉄板等にて対応するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 排水構造物の施工については、常時通水可能な状態を確保し、異常時には臨機の措置を講じるものとする。
工程	工程	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の工期は、休日、雨天のほか、社会的制約条件による要因を考慮してのものである。
	関係機関協議	<input checked="" type="checkbox"/> 施工前、ゴミ置場等施工上移設が生じる場合は、所有者、関係自治会等調整し移設場所を確定し、回覧等により周知徹底を行うものとする。他の物件で移設が生じる場合も、同様の扱いとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事着手前はもとより、工事期間中を通じて、必要の都度、工事内容を地元住民及び通行人等関係者に周知し、工事への協力を求めるための文書を配布するなど必要な措置を講ずるものとする。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物の対応について、各管理者と監督員の立会のもと、試掘調査を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工箇所付近に占有物件が予想される場合には、工事施工に先立って地下埋設（上空占有を含む）の詳細情報を関係機関から調査収集し、受注者より各管理者と現地立会を行うなど、施工に際し十分に協議確認を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物及び上空占有物を誤って切断した場合の緊急時の対策として、必ず監督員まで詳細を報告し、速やかに関係機関へ連絡を取るとともに周辺住民に対しても適切な処置を行うものとする。 <input type="checkbox"/> 他の工事等と重複する場合も考えられるため、施工時期や交通規制等に綿密な調整を図り、十分な配慮をもって施工するものとする。
	官公庁への手続き等	<input checked="" type="checkbox"/> 交通障害に伴う道路使用許可の手続き、消防への工事届け等を速やかに行うものとする。なお、道路使用許可申請にかかる手数料は、受注者の負担とする。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事に於いて制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

津市上下水道事業局
令和3年4月

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
用地・補償関係	事業損失	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 家屋事前調査は、調査前に対象住民への周知を行い、調査後に工事着手するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し、監督員に報告するものとする。ただし、その内容によっては、市と受注者が協議し、市が処理する場合もある。
	民地の保全	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鋸、プレート等）が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事により境界杭等が破損、亡失した場合は、工事完了後復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。
安全対策	工事中の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 施工箇所において、通学路であった場合は、対象の学校と十分協議をし、工程の調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 資機材の搬出入と通行時間は適切な時間帯に行い、沿線住民等への周知を図るものとする。これにより難しい場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 地山掘削・床掘時は、既設構造物に損傷が出ないように、適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対処するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 図示してある掘削及び床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況、地下水等を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。 <input type="checkbox"/> 工種（ ）について、施工日の即日開放を原則とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工種（区画線工）について、事前に（津南警察署）と立会を行い、確認後、施工を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場にて使用する各種建設機械は、持込者や点検・整備・維持管理状況が把握できるよう、受注者において書類により整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場において設置する仮設工は、設置完了時や使用中の点検及び管理についてチェックリスト等を活用して実施・整理し、監督員もしくは検査員が求めた際には提示すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場代理人は、豪雨、出水、その他の天災に対しては、平素から気象情報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておくものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所はその日のうちに補修を行うものとする。
	交通安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者（以下「交通誘導警備員」という）を配置し、公衆の交通の安全を確保するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員のうち1人は有資格者（平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかる1級又は2級検定合格者）または、交通の誘導・整理の実務経験3年以上の者を配置するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、交通誘導警備員を雇用するにあたり、その警備会社と雇用期間中等労働条件並びに傷害保険等に関する契約書を締結し、その契約書（写し）を監督員に提出すること。また、交通誘導警備員の配置者一覧表（資格・実務経験年数を明示したもの）及び配置者名の明記された伝票を監督員へ提示するものとする（但し、監督員が提出を求めた場合は提出するものとする）。 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員に一日一日の工事（どこまで進入できるか等）を十分把握させ、地元車両の出入り等、交通整理に円滑な処置がとれるようにするものとする。

(注)上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
環境対策	環境対策	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 土粒子を多量に含み、排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂または濾過施設を通して放流するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は産業廃棄物の処理を委託する際、運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者等と、それぞれ個別に直接契約し、その契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提示もしくは提出すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）は産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供し、また受注者は、処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員が提示を求めた場合は提示するものとする。
資料作成	提出書類	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 工事日誌については、監督員が指示した場合、提出するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4） <input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書の提出部数は2部とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料を受注者の責任と費用負担において整備し、使用前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。 ・アスファルト混合物（事前認定審査を受けた混合物の認定書の写し）、生コンクリート（製造会社の材料試験結果、配合の決定に関する確認資料）、購入土、碎石（新材）等 ※その他材料に関する資料についても原則、全て提出するものとするが、主たる材料以外で使用量が少量の場合は資料の提出について監督員と協議できるものとする。
	部分下請負通知書	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の一部分において下請負させる場合は、全て部分下請負通知書を当該下請負業者の施工開始日までに監督員に提出するものとする。部分下請負通知書には下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 特定建設業者で下請負金額の総額が、建設業法第3条第1項第2号の政令で定める金額以上の場合、受注者は、本工事をつかさどる監理技術者の資格証明書の写しを提出するものとする。
支払いに関する事項	前金支払いに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めるときは、契約金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いするものとする。

(注)上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事中において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）												
その他	名札	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。 <名札の例> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">主任・監理技術者</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; height: 100px; vertical-align: middle; text-align: center;"> 写 真 2cm×3cm 程度 </td> <td style="padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">氏 名</td> <td>〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>工 事 名</td> <td>〇〇〇〇工事</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日</td> </tr> <tr> <td>会 社</td> <td>〇〇建設株式会社 印</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </div> <p style="margin-top: 10px;">注1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 注2) 所属会社の社印とする。</p>	主任・監理技術者		写 真 2cm×3cm 程度	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">氏 名</td> <td>〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>工 事 名</td> <td>〇〇〇〇工事</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日</td> </tr> <tr> <td>会 社</td> <td>〇〇建設株式会社 印</td> </tr> </table>	氏 名	〇〇 〇〇	工 事 名	〇〇〇〇工事	工 期	自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日	会 社	〇〇建設株式会社 印
	主任・監理技術者													
	写 真 2cm×3cm 程度	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">氏 名</td> <td>〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td>工 事 名</td> <td>〇〇〇〇工事</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日</td> </tr> <tr> <td>会 社</td> <td>〇〇建設株式会社 印</td> </tr> </table>	氏 名	〇〇 〇〇	工 事 名	〇〇〇〇工事	工 期	自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日	会 社	〇〇建設株式会社 印				
	氏 名	〇〇 〇〇												
	工 事 名	〇〇〇〇工事												
工 期	自〇〇年〇〇月〇〇日 至〇〇年〇〇月〇〇日													
会 社	〇〇建設株式会社 印													
部分使用	<input type="checkbox"/> 部分使用箇所（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用時期（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用目的（ ）													
部分引渡し	<input type="checkbox"/> 部分引渡し指定部分（ 別途説明書に記載 ） <input type="checkbox"/> 部分引渡し時期（ ）													
巡回	<input checked="" type="checkbox"/> 当工事(修繕)は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等を行う現場パトロールを行うことがある。													
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事における施工順序については、監督員の承認を得るものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 付帯道路の供用日については、別途通知するものとし、切り換えに伴う現道の区画線工は、供用時に行うこと。また、供用後については、日常的な維持管理を行い通行の安全を確保すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 降雨時における排水については、その都度、事前に監督員と協議を行い対策の措置を講じるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 野田池水利組合との協議により、貯水を行う時期（令和4年2月下旬予定）には、監督員の指示の下、貯水可能となるよう適切な処置を講じるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 水路工、カルバート工及びこれらに伴う仮設工の施工については、近接箇所（別途指示）の変位を日常的に測定し、監督員に報告するものとする。													

(注)上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
工程関係	<input type="checkbox"/> 別途工事との工程調整が必要あり (別途工事名:) <input checked="" type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり <input type="checkbox"/> 工期 <input type="checkbox"/> 他機関との協議が未了 <input type="checkbox"/> 占用物件との工程調整の必要あり <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 調整項目 (<input type="checkbox"/> 資材等の流用 <input type="checkbox"/> 仮設及び工事用道路等の調整 <input type="checkbox"/> 建設機械等の調整) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工順序の調整 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 制限する工種名 (水路工、カルバート工及びこれらに伴う仮設工、付帯道路工) 施工時期及び施工時間 (別途指示) 施工方法 (別途指示) <input type="checkbox"/> 工期は、繰越手続きが完了後、(年 月 日) までに変更します。 <input type="checkbox"/> 協議が必要な機関名 () 協議完了見込み時期 () <input type="checkbox"/> 占用物件名 (<input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> その他 ()
用地関係	<input type="checkbox"/> 用地補償物件の未処理箇所あり <input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤードの有無 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 未処理箇所 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> No. ~No. <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 完了見込み時期 (令和 年 月 日) <input type="checkbox"/> 別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤード (<input checked="" type="checkbox"/> 官有地 <input type="checkbox"/> 民有地 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤード使用期間 (別途指示) <input type="checkbox"/> 仮設ヤードからの運搬距離 (L= km) <input checked="" type="checkbox"/> 使用条件・復旧方法 (別途指示) <input type="checkbox"/> その他 ()
公害対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 施工方法の制限あり <input checked="" type="checkbox"/> 事業損失防止に関する調査あり <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 制限項目 (<input type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 粉じん <input checked="" type="checkbox"/> 排出ガス <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 施工方法等 (<input type="checkbox"/> 指定工法名 () <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 施工時期 () <input checked="" type="checkbox"/> 調査項目 (<input type="checkbox"/> 騒音測定 <input type="checkbox"/> 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input checked="" type="checkbox"/> 近接家屋の事前 事後 調査 <input type="checkbox"/> 地盤沈下測定) <input type="checkbox"/> 地下水位等の測定 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 調査方法 (<input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> その他 ()
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定あり <input checked="" type="checkbox"/> 近接施設等に対する制限 <input type="checkbox"/> 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり <input checked="" type="checkbox"/> 現場での安全確保 (自主施工の原則) <input checked="" type="checkbox"/> 事故連報の提出 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 指定路線 <input checked="" type="checkbox"/> 指定路線以外 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置人員数 <input checked="" type="checkbox"/> 概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数: 交通誘導警備員 A: 0 人 B: 172 人 (注: 交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。) ② 受注者は、工事着手前に配置計画等 (配置人員、期間等) を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> 積上げによる算出 配置人員数 (人) (うち交通誘導警備員A (人)) (注: 配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。) <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置時間 (別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置期間 (別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員配置の対象工種 (別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 既存施設あり ・近接公共施設 (<input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公共下水道管)) ・近接施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 擁壁 () <input checked="" type="checkbox"/> ブロック塀 <input checked="" type="checkbox"/> 家屋 <input type="checkbox"/> その他 ()) ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 <input type="checkbox"/> 工法制限あり ・制限を受ける工種 () ・制限内容 () <input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 保安要員の配置 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。 <input type="checkbox"/> その他 ()
工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 一般道路 (搬入路) の使用制限あり <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置条件あり <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 用地及び構造 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 安全施設 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> その他 ()

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設備の設置条件あり	<input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件 () <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議 () <input type="checkbox"/> 転用あり () <input type="checkbox"/> 兼用あり () <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 水替工（縮切排水工）	<input type="checkbox"/> 施工条件の指定なし <input checked="" type="checkbox"/> 施工条件の指定あり ① 水替工（縮切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： 60 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（縮切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input type="checkbox"/> 仮設物の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 構造及び設計条件 () <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議 () <input type="checkbox"/> 施工方法 () <input type="checkbox"/> その他 ()
建設発生土・産業廃棄物関係	<input type="checkbox"/> 建設発生土受入地の指定あり	<input type="checkbox"/> 受入地の条件 () <input type="checkbox"/> 別添図面 <input type="checkbox"/> 運搬距離 (L=) km <input type="checkbox"/> 受入料金あり <input type="checkbox"/> 受入料金なし <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定	<input checked="" type="checkbox"/> 受入地未定につき別途協議する。() <input checked="" type="checkbox"/> 暫定運搬距離L= 8 km、 <input checked="" type="checkbox"/> その他（三重県建設副産物処理基準第7条第3項に基づき、民有地（再資源化施設等を含む）へ適正に処理する場合は、土量、土質、処理費、受入地までの運搬距離及び受入料金を踏まえ、協議により決定するものとする。）
	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の種類 () <input checked="" type="checkbox"/> コン塊 <input checked="" type="checkbox"/> アス塊 <input type="checkbox"/> 木材 <input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> その他（腐プラ） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処分地 () <input checked="" type="checkbox"/> 再生処分場 () <input type="checkbox"/> 最終処分場 () <input type="checkbox"/> 別添図書 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議 () 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目 () に記入のこと。】 <input type="checkbox"/> 処分場の受入条件 () <input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 <input type="checkbox"/> その他 ()
工事支障物件関係	<input type="checkbox"/> 工事支障物件あり	<input type="checkbox"/> 支障物件名 () <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 移設時期 () <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 別途協議 () <input type="checkbox"/> 防護 () <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()
薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法等の指定あり	<input type="checkbox"/> 設計条件 () 工法区分 () 材料種類 () 施工範囲 () <input type="checkbox"/> 削孔数量 () 注入量 () その他 ()
	<input type="checkbox"/> 提出書類あり <input type="checkbox"/> 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	<input type="checkbox"/> 工法関係 () 材料関係 ()
	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()
再生材使用関係	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材使用の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材の種類 () <input checked="" type="checkbox"/> 再生Asコン <input type="checkbox"/> 再生路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> 再生クラッシュラン <input type="checkbox"/> 道路用盛土材 <input type="checkbox"/> 再生コン砂 () <input checked="" type="checkbox"/> 再生材が使用出来ない場合の措置 () <input type="checkbox"/> 新材に変更 <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議 ()
	<input type="checkbox"/> 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	<input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議。 （認定製品の品名： <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> サンドクッション材 <input type="checkbox"/> 上層路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート二次製品 <input type="checkbox"/> グレーチング <input type="checkbox"/> その他 ()) <input checked="" type="checkbox"/> 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： 間伐材製工事用バリアード・看板・標示板・三重県型積ブロック・プレキャスト型側溝・側溝蓋）
<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()	

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
その他	<input type="checkbox"/> 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり <input type="checkbox"/> 現場発生品あり <input type="checkbox"/> 支給品あり <input type="checkbox"/> 盛土材等工事間流用あり <input type="checkbox"/> 現場環境改善費適用工事 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ） <input type="checkbox"/> 時期（令和 年 月 日） その他（ ） <input type="checkbox"/> 運搬方法（ <input type="checkbox"/> 受注者で運搬 <input type="checkbox"/> 受注者以外で運搬 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> 引渡場所（ <input type="checkbox"/> 別添函等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ）） 数量（ ） 運搬距離（L= km） <input type="checkbox"/> 現場環境改善の内容（率分）（ ） <input type="checkbox"/> 現場環境改善の内容（積上）（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
適用条件	<input checked="" type="checkbox"/> 適用条件	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和3年4月1日）） <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書 1-1-1-2 第22項中「電子メールなどの署名または押印が不要な手段により」とあるのは「電子メールなどにより」と、第26項「書面とは、手書き、印刷物等による工事打合せ簿等の工事帳票をいい、発行年月日を記載し、署名または押印したものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われた工事帳票については、署名または押印がなくても有効とする。」とあるのは「書面とは、工事打合せ簿等の工事帳票をいい、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われたものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いない場合は、発行年月日を記載し、記名（署名または押印を含む）したのも有効とする。」と読み替えるものとする。 <input type="checkbox"/> 「土木構造物設計マニュアル（案） 編」を適用 <input checked="" type="checkbox"/> 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン（平成31年3月）（一部改正：令和2年4月）を参考とする。 <input type="checkbox"/> 「受発注者間の協議における回答予定日を明確にする取組」対象工事に係る特記仕様書 令和2年8月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「工事監理連絡会」対象工事に係る特記仕様書 令和2年8月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ※設計図書の見直し完了後、実施について監督員と協議すること。 <input type="checkbox"/> 支援技術者 1. 本工事は現場における現場技術業務を〔例示ー（公財）三重県建設技術センター〕に委託しているため、その支援技術者が監督員に代わって施工体点検、現場で立会、観察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、書類（施工体制台帳、計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明にしなければならない。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しないものである。 2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 3. 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 4. 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。支援技術者： <input type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和3年4月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書に準拠すること
監督の区分 共通仕様書 第3編3-1-1-6 第6項、第10項 に規定する 表3-1-1(1)、 表3-1-1(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。） <input type="checkbox"/> 重点監督	<input checked="" type="checkbox"/> 重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 <input type="checkbox"/> 全ての工種に適用する。 <input type="checkbox"/> 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
電子納品	<input type="checkbox"/> 工事完成図書（工事写真含む） <input checked="" type="checkbox"/> 電子納品対象外	<input type="checkbox"/> 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 <input checked="" type="checkbox"/> 電子媒体の提出部数は、（ <input type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> （ ）部）とする。 <input type="checkbox"/> 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和2年8月改訂）を適用
地質調査の 電子成果品等	<input type="checkbox"/> 地盤情報データベースの登録が必要あり	<input type="checkbox"/> 検定及び登録機関（一般財団法人国土地盤情報センター（https://ngic.or.jp/）） <input type="checkbox"/> 検定料金の計上（ <input type="checkbox"/> A検定 <input type="checkbox"/> B検定 ） （注：受注後、これにより難しい場合は設計変更の対象とする。）
産業廃棄物税	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物税	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事には産業廃棄物税相当が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
コリンズ 作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> コリンズ（CORINS）の作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設発生土情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物情報交換システム <input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	<input type="checkbox"/> 下請企業の次数制限	<input type="checkbox"/> 本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
特例監理技術者の設置	<input type="checkbox"/> 特例監理技術者の設置	<input type="checkbox"/> 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。
配慮依頼事項	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製品の使用 <input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れ <input checked="" type="checkbox"/> 使用人等において市民の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用しよう配慮すること。
津市公契約条例	<input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例に関する特記 <input checked="" type="checkbox"/> 労働環境の確保に係る誓約事項	<input checked="" type="checkbox"/> 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあっては、別紙誓約事項に違反したとき。 <input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。
社会保険等未加入対策	<input checked="" type="checkbox"/> 社会保険等未加入対策（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	<input checked="" type="checkbox"/> 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
法定福利費の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費を明記した標準見積書の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積りに法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用を努めること。（津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）
暴力団等の不当介入の排除等	<input checked="" type="checkbox"/> 暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	<input checked="" type="checkbox"/> 締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。 1 受注者の義務 (1) 契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 (2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。 (5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。 (6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。 2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 (1) 入札参加資格等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札参加資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。 (2) 上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。 3 契約等の解除 (1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等	<input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等に関する特記	<p><input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、以下により徹底を図るものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 工事の円滑な施工確保を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い・うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。 2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（以下「三つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、建設現場等における朝礼・点呼や現場事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや語め所等での食事・休憩など、元請事業者をはじめ、下請事業者等の多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に十全を期すこと。 3 工事等の関係者が「特定警戒都道府県」から作業等に従事する必要がある場合は、受発注者で協議を行い、感染拡大防止のための適切な対応をとること。 4 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。 5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。 6 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者（以下「感染者等」という。）であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講ずること。なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、受注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。 7 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更が必要であると認めるときは、津市工事請負契約約款第19条（設計図書の変更）の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとします。この場合において必要があると認められるときは、工期若しくは請負代金額の変更の対象とするものとする。
ワンデーレスポンス	<input checked="" type="checkbox"/> ワンデーレスポンスの実施	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。なお、質問・協議等に当たっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。 3 受注者は三重県公共工事共通仕様書「1-1-3設計図書の照査等」に基づき、適切に設計図書の照査を実施すること。 4 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。 5 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。
その他	<input type="checkbox"/> その他	

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。